女性の創業支援に関する
アンケート調査業務委託
報告書

平成 28 年 2 月

藤枝市 創業支援室

１） 調査概要

①調査対象：藤枝市内在住の 20 歳以上 60 歳以下の女性、3,000 人

②調査期間：平成 27 年 12 月

③調査方式：郵送による留置記入式

④回 答 率：1120 票（37.3%）

⑤調査項目：

(1)フェイスシート

問１：年齢

問２：家族構成

問３：職業

問１×問２：「年代」と「家族構成」の関係

問１×問３：「年代」と「職業」の関係

(2) 今後の働き方の希望について

問４：今後も働きたい、働き続けたいと思うか

問５：今後も働きたい、働き続けたいと思う理由

問６：今後の働き方の希望

問７：働く上で不安や悩みだと思うこと

問８：今後、働きたいと思わない、働き続けたいと思わない理由

(3) 起業・創業の関心について

問９：趣味や習い事で得た技術を活かして収入を得てみたいと思うか

問 10：起業・創業への興味・関心

問 11：興味・関心があると思う理由

問 12：起業・創業の学習、セミナー・イベントの参加経験

問 13：それはどのようなものか

問 14：将来、起業・創業してみたい、または、起業・創業する可能性があるか

問 15：将来、起業・創業したい事業の分野

問 16：起業する地域の希望

問 17：興味はあっても起業しない理由

問 18：あったら良いと思う起業・創業に関する支援事業・サービス等

(4)市の取り組みについて

問 19：藤枝市が行っている施策で知っているもの

問 20：『女性が働きやすく輝くまち』となるために重要だと思う取り組み

２） アンケート結果の総括・提案

結果の総括

20～50 代の女性の半数以上が趣味を活かして収入を得たいと考えており、約３割が起業に関心がある。また、起業への意欲・可能性があると回答している方は 14.1％で、藤枝市内には 5,000 人以上の方に起業の可能性があると推計される。

起業を考えている場所は市内が多く、職種は、飲食業や教室運営となっている。

一方、起業していない理由を“はじめ方がわからない”や“資金”としていることから、起業相談対応や各種制度の紹介による資金調達などにより効果が上がると考えられる。そのためには、認知度の低い起業・創業支援施策について、これまで以上の情報発信が必要になっている。

また、女性が働きやすく輝くまちとするためには、保育・介護に関する公的サービスなど幅広い分野の対応が求められており、裾野の広い施策展開が必要である。

■働きたい女性は 9 割を超えている。（ｐ6 参照）

新たに働きたい、働き続けたいとする女性は 90.4％で９割を超えている。

■趣味や習い事で得た技術を活かして収入を得たい女性は５割強。（ｐ14 参照）

趣味や習い事で得た技術を活かして収入を得たいと考えている女性は全体の 55.4％であり、潜在人口で約 19,500 人となる。そのように考えている女性は各年代層・各職業にあり、ほぼ同様の結果である。（平成 28 年 2 月の 20～50 代の女性人口 35,354 人に基づいて推計）

■起業・創業への関心は３割。趣味を活かす、自分ペースの就労を期待。（ｐ16・18 参照）

起業・創業に関心があるのは全体の３割（31.2％）であり、潜在人口で約 11,000 人となる。関心は各年齢層・各職業にある。関心の理由として、自分の趣味や特技を活かしたい（56.0％）、自分のペースで働きたい（59.8％）としている。

■起業・創業への意欲・可能性があるのは 14.1％。（ｐ26 参照）

起業・創業するつもり（0.9％）、条件が整えば起業・創業したい（13.2％）であり、起業への意欲・可能性があるのは 14.1％、潜在人口で約 5,000 人となる。

■起業したい分野は飲食業、講師・教室運営、場所は市内。（ｐ29 参照）

起業・創業を少しでも考えている女性の職業分野は、飲食業、講師・教室運営が多いが、業種は多岐にわたっている。開業の場所では、市内が多い。

■起業していない理由は“はじめ方がわからない”“資金” （ｐ30 参照）

興味があっても起業・創業していない理由は、“何から始めればいいのかわからない”“自己資金の不足”であり、支援に可能性がある。

■セミナー等の参加経験は 4.7％。起業・創業支援施策への認知度は低い。（ｐ21・34 参照）

起業・創業の学習、イベント・セミナーへの参加経験は 4.7％と少ない。また、藤枝市が行っている起業・創業支援施策で知られているものは「図書館ビジネスコーナー」（9.0％）「女性向け起業講座」（7.6％）で、多いものでも１割に満たない。

施策に向けた提案

⇒起業・創業に関心がある女性に情報を届ける

起業・創業に関心がある市内女性の潜在が 5,000 人程度と想定されることから、これまで以上に広報媒体等を活用して、藤枝市が行う起業・創業支援施策の情報の提供、イベント・セミナー、EG 支援センター・エフドアへの勧誘を実施する。

⇒起業を意識するきっかけづくり

起業家の話を聞く機会や自己啓発セミナー等の機会を通じて、起業への関心や意識へとつながるきっかけづくりを実施する。また、職業後の職業選択の一つとして起業を意識するように第二の人生についてのセミナーや説明会を開催する。

⇒アンケートの結果を広報する

“女性の働き方に関するアンケート”の結果について、広報紙やホームページで広報するほか、各種講座、イベント・セミナーに際して、パネル等を作成、活用して要点を広報し、市民の関心を高める。

⇒創業支援のスキルを高める

起業・創業に関する各種セミナーの効果的な実施、EG 支援センター・エフドアにおける産業コーディネーターと連携した支援のスキルを高める。

⇒幅広い分野の施策を“働く女性が輝くための施策”として位置づける

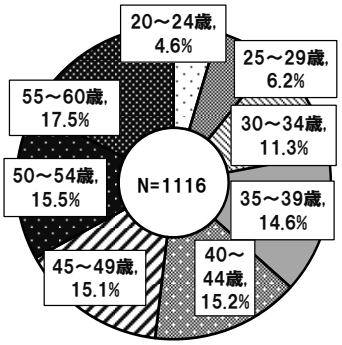
働く女性が輝くためには、保育や介護についての公的サービスから、企業への働きかけ、就職・再就職への支援などまで幅広い施策があることから、このほかの施策も含めて“働く女性が輝くための施策”として位置づけ、展開する。

３） 結果概要

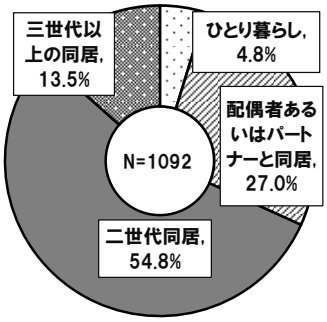
※ N：有効回答数

(1) フェイスシート

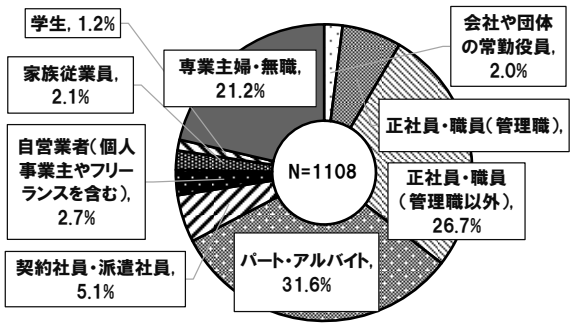
問１ 年齢



問２ 家族構成



問３ 職業



回答者の属性まとめ

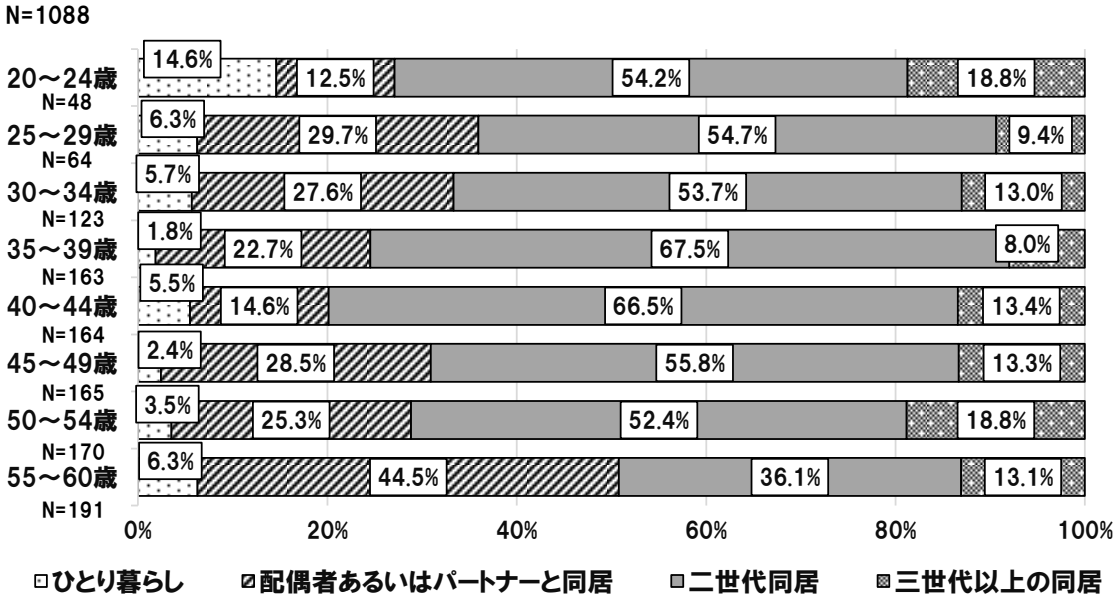
問1　あなたの年齢	人 数	構 成 比
20～24 歳	51	4.6%
25～29 歳	69	6.2%
30～34 歳	126	11.3%
35～39 歳	163	14.6%
40～44 歳	170	15.2%
45～49 歳	169	15.1%
50～54 歳	173	15.5%
55～60 歳	195	17.5%
合計	1116	100.0%

問2　あなたの家族構成	人 数	構 成 比
ひとり暮らし	52	4.8%
配偶者あるいはパートナーと同居	295	27.0%
二世代同居	598	54.8%
三世代以上の同居	147	13.5%
合計	1092	100.0%

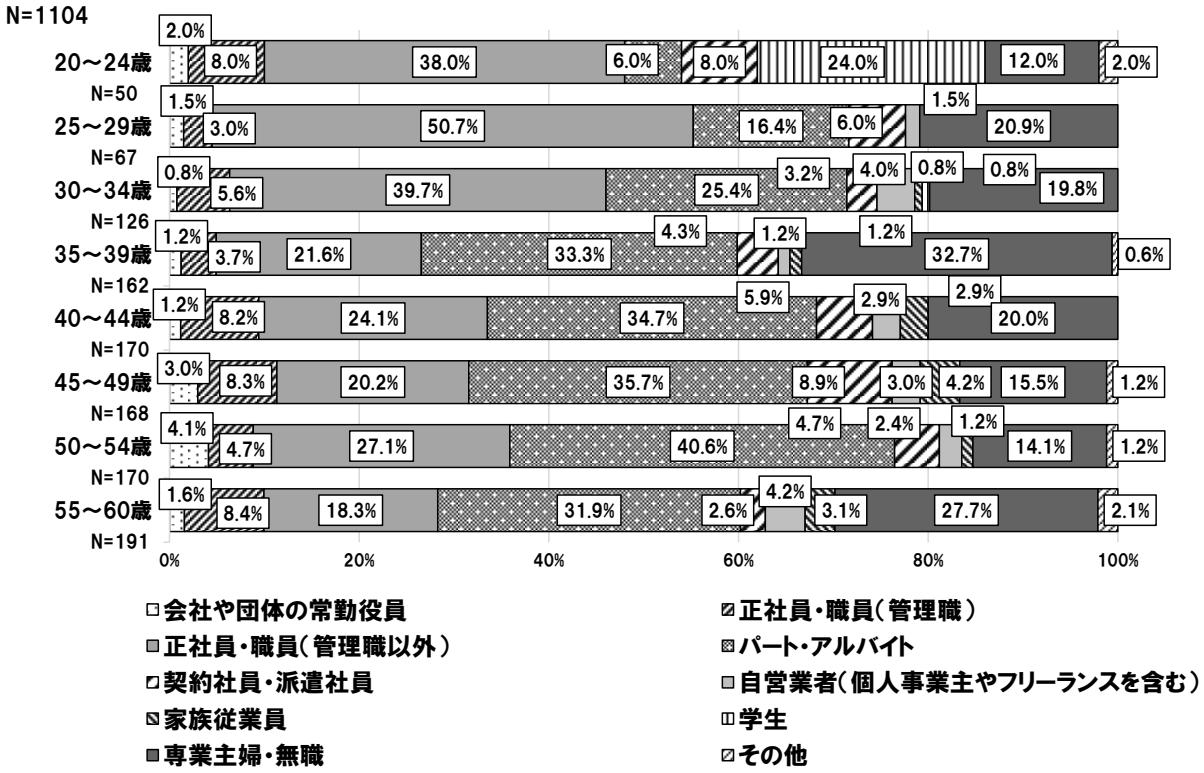
問3　あなたの職業	人 数	構 成 比
会社や団体の常勤役員	22	2.0%
正社員・職員（管理職）	71	6.4%
正社員・職員（管理職以外）	296	26.7%
パート・アルバイト	350	31.6%
契約社員・派遣社員	57	5.1%
自営業者（個人事業主やフリーランスを含む）	30	2.7%
家族従業員	23	2.1%
学生	13	1.2%
専業主婦・無職	235	21.2%
その他	11	1.0%
合計	1108	100.0%

回答者の属性　偏り

問１×問２「年代」と「家族構成」の関係



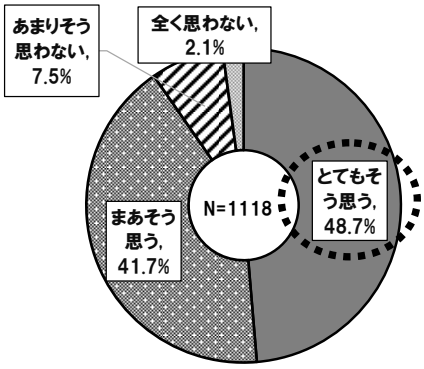
問１×問３「年代」と「職業」の関係



(2) 今後の働き方の希望について

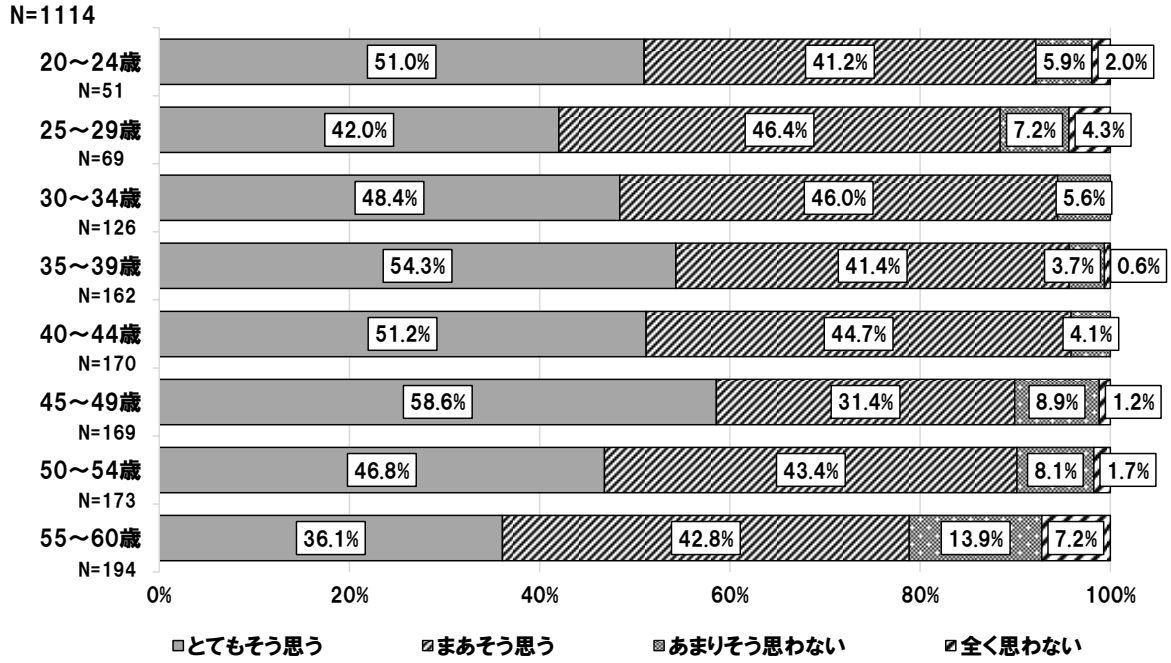
問４ 今後、新たに働きたい、働き続けたいと思うか（全体）

全体では、「とてもそう思う」が 48.7%と最も多く、次いで「まあそう思う」が 41.7%となっており、9 割の方が今後も働きたい、働き続けたい(「とてもそう思う」＋「まあそう思う」)と考えている。



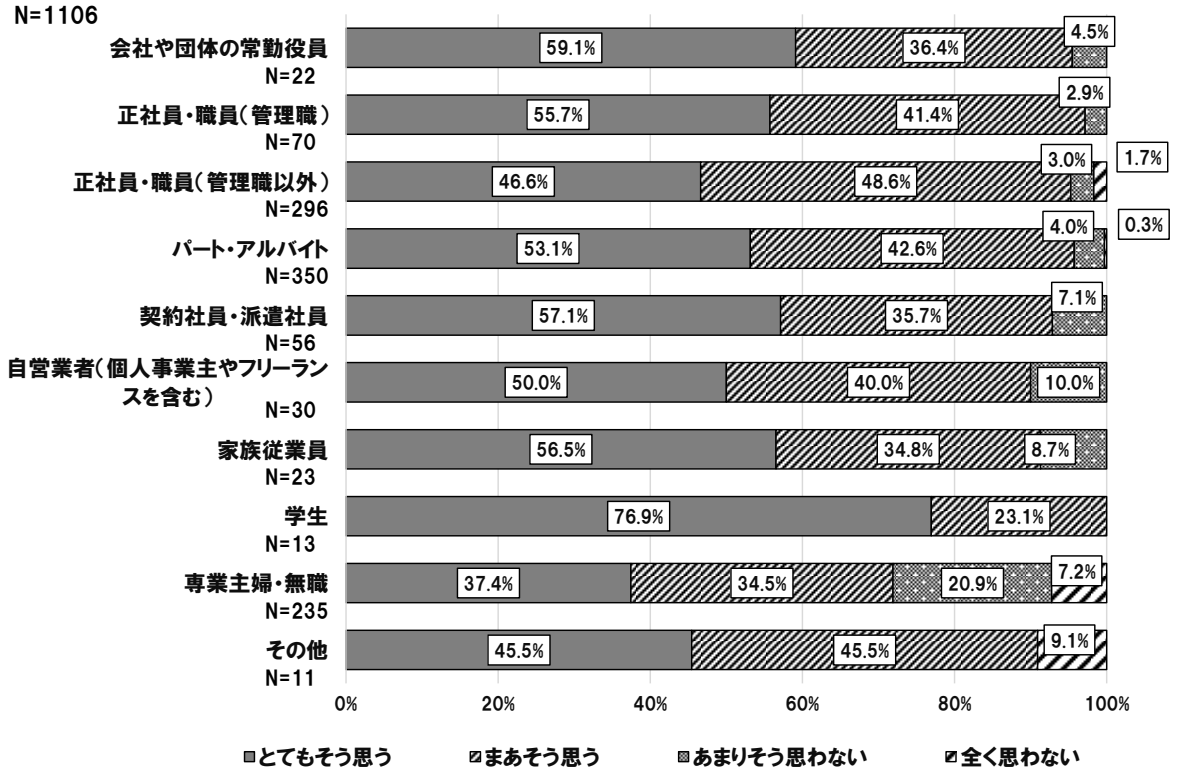
問４ 今後、新たに働きたい、働き続けたいと思うか（年齢別）

年齢別でも、全ての年齢層で新たに働きたい、働き続けたい(「とてもそう思う」＋「まあそう思う」)と考えている割合が最も多く、傾向に差はない。



問４ 今後、新たに働きたい、働き続けたいと思うか（職業別）

職業別では、どの職業の方も、新たに働きたい、働き続けたい(「とてもそう思う」＋「まあそう思う」)と考えている割合が最も多いが、専業主婦・無職の方は新たに働きたい、働き続けたいと考えている割合が７割とやや少ない傾向にある。

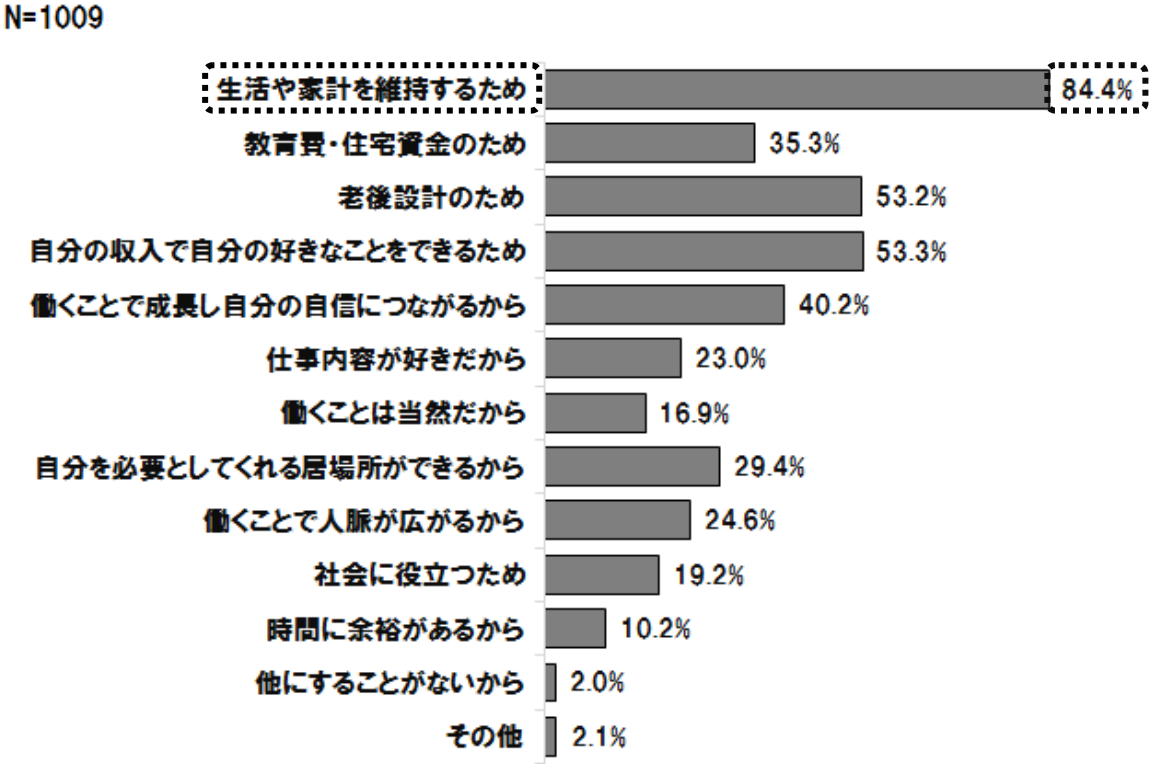


【今後、新たに働きたい、働き続けたいと選択した方を対象】

問５ そのように思う理由（全体）（該当するもの全て）

（とてもそう思う 544 人、まあそう思う 466 人が対象　内１人が無回答）

全体の就業理由は、「生活や家計を維持するため」が最も多く、84.4%となっている。



問5　今後も働きたい、働き続けたいと思う理由 ＜全体＞	人　数	構 成 比
生活や家計を維持するため	852	84.4%
教育費・住宅資金のため	357	35.3%
老後設計のため	537	53.2%
自分の収入で自分の好きなことをできるため	538	53.3%
働くことで成長し自分の自信につながるから	406	40.2%
仕事内容が好きだから	232	23.0%
働くことは当然だから	171	16.9%
自分を必要としてくれる居場所ができるから	297	29.4%
働くことで人脈が広がるから	248	24.6%
社会に役立つため	194	19.2%
時間に余裕があるから	103	10.2%
他にすることがないから	20	2.0%
その他	21	2.1%
合計	3976	393.7%

問５ そのように思う理由（年齢別）

年齢別の就業理由も、「生活や家計を維持するため」が最も多い。

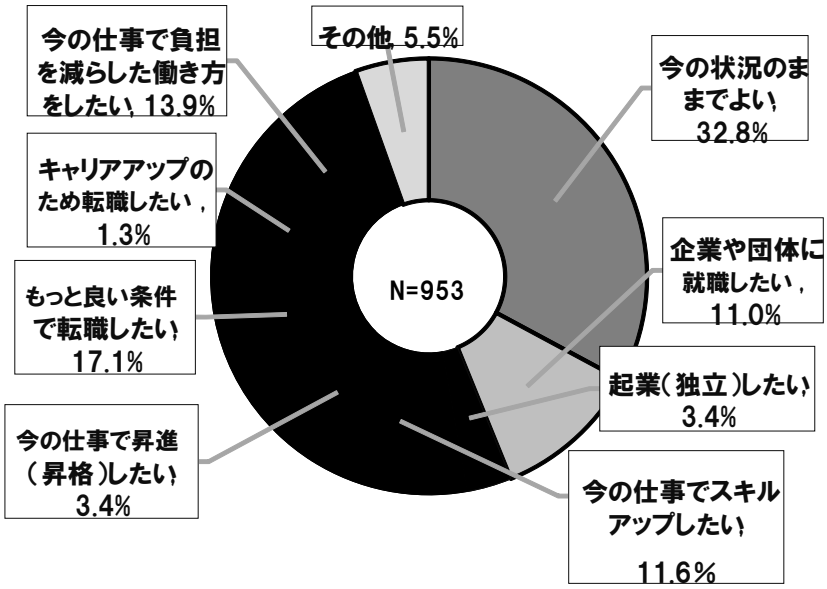
問5 今後も働きたい、働き続けたいと思う理由 ＜年齢別＞	20～24 歳（人数）	25～29 歳（人数）	30～34 歳（人数）	35～39 歳（人数）	40～44 歳（人数）	45～49 歳（人数）	50～54 歳（人数）	55～60 歳（人数）
生活や家計を維持するため	36	56	105	140	138	136	126	111
教育費・住宅資金のため	6	18	51	73	77	72	51	7
老後設計のため	11	25	51	77	87	94	103	87
自分の収入で自分の好きなことをできるため	38	37	58	74	82	75	87	87
働くことで成長し自分の自信につながるから	21	26	40	66	61	55	73	63
仕事内容が好きだから	13	8	23	35	34	43	40	36
働くことは当然だから	10	13	24	21	30	20	33	19
自分を必要としてくれる居場所ができるから	7	12	34	45	40	44	57	58
働くことで人脈が広がるから	7	18	27	42	38	33	45	38
社会に役立つため	13	7	20	28	30	28	39	29
時間に余裕があるから	3	3	8	16	14	11	23	25
他にすることがないから	1	1	3	3	3	2	3	4
その他	1	1	2	4	2	2	2	7
合計	167	225	446	624	636	615	682	571

問5 今後も働きたい、働き続けたいと思う理由 ＜年齢別＞	20～24 歳（構成比）	25～29 歳（構成比）	30～34 歳（構成比）	35～39 歳（構成比）	40～44 歳（構成比）	45～49 歳（構成比）	50～54 歳（構成比）	55～60 歳（構成比）
生活や家計を維持するため	76.6%	91.8%	88.2%	90.3%	84.7%	89.5%	80.8%	72.5%
教育費・住宅資金のため	12.8%	29.5%	42.9%	47.1%	47.2%	47.4%	32.7%	4.6%
老後設計のため	23.4%	41.0%	42.9%	49.7%	53.4%	61.8%	66.0%	56.9%
自分の収入で自分の好きなことをできるため	80.9%	60.7%	48.7%	47.7%	50.3%	49.3%	55.8%	56.9%
働くことで成長し自分の自信につながるから	44.7%	42.6%	33.6%	42.6%	37.4%	36.2%	46.8%	41.2%
仕事内容が好きだから	27.7%	13.1%	19.3%	22.6%	20.9%	28.3%	25.6%	23.5%
働くことは当然だから	21.3%	21.3%	20.2%	13.5%	18.4%	13.2%	21.2%	12.4%
自分を必要としてくれる居場所ができるから	14.9%	19.7%	28.6%	29.0%	24.5%	28.9%	36.5%	37.9%
働くことで人脈が広がるから	14.9%	29.5%	22.7%	27.1%	23.3%	21.7%	28.8%	24.8%
社会に役立つため	27.7%	11.5%	16.8%	18.1%	18.4%	18.4%	25.0%	19.0%
時間に余裕があるから	6.4%	4.9%	6.7%	10.3%	8.6%	7.2%	14.7%	16.3%
他にすることがないから	2.1%	1.6%	2.5%	1.9%	1.8%	1.3%	1.9%	2.6%
その他	2.1%	1.6%	1.7%	2.6%	1.2%	1.3%	1.3%	4.6%
合計	355.3%	368.9%	374.8%	402.6%	390.2%	404.6%	437.2%	373.2%

問６ 今後の働き方の希望（全体）

（とてもそう思う 544 人、まあそう思う 466 人が回答）

全体では、「今の状況のままでよい」が最も多く 32.8%となっている。

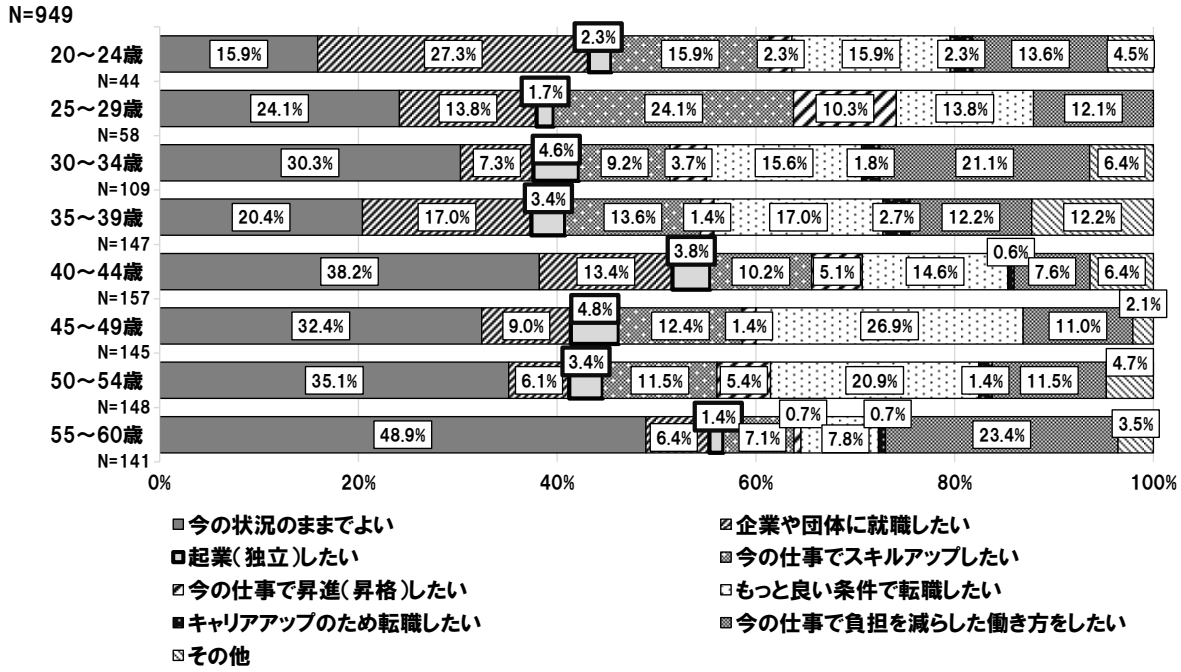


全体での「起業（独立）したい」の割合は 3.2%（32 人）となっている。

問６ 今後の働き方の希望（年齢別）

（とてもそう思う 544 人、まあそう思う 466 人が対象）

年齢別でも、「今の状況のままでよい」が最も高く、今後も現状の働き方を継続する傾向にある。

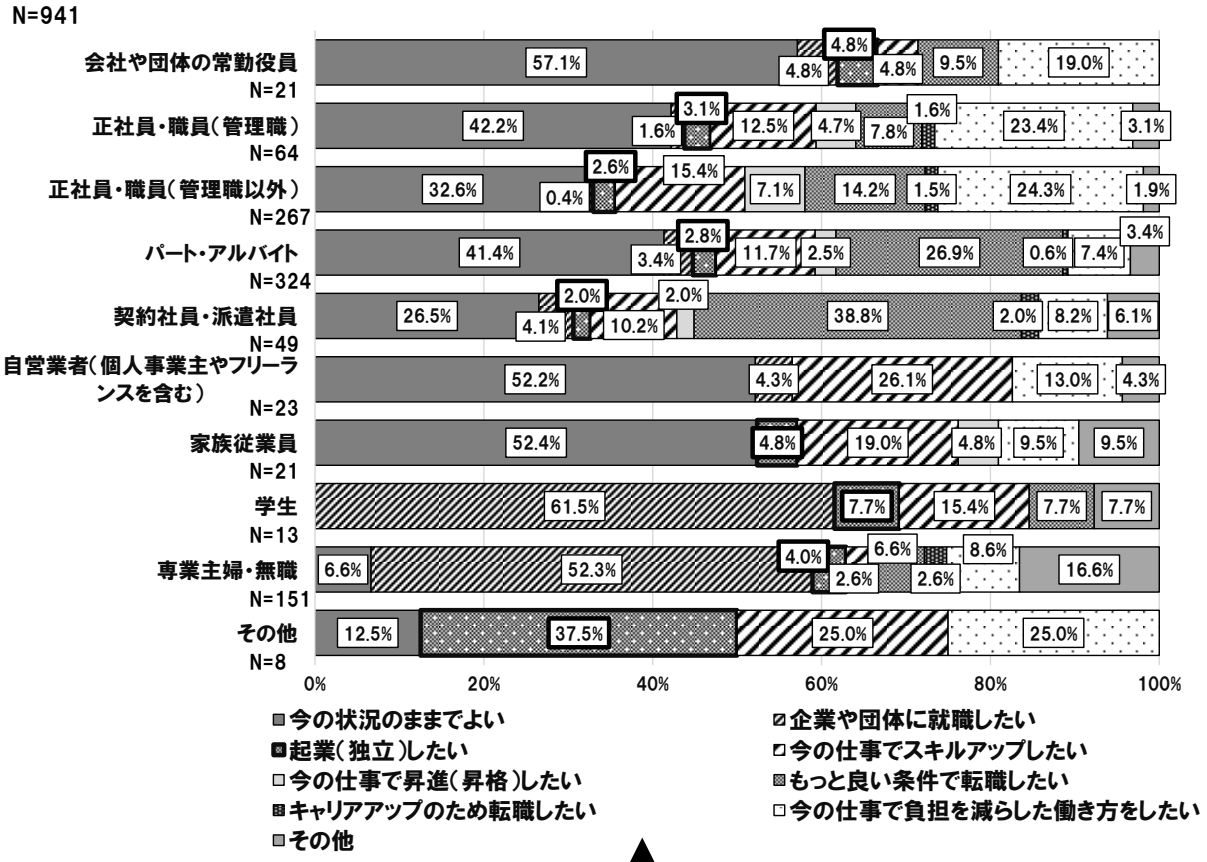


年齢別での「起業（独立）したい」の割合としては、30 代～40 代の意欲がやや高く、3.4%～4.8%を占めている。

問６ 今後の働き方の希望（職業別）

（とてもそう思う 544 人、まあそう思う 466 人が対象）

職業別では、常勤役員や正社員・職員など、既に企業や団体で働いている方に関しては「今の状況のままでよい」が最も多い一方、今の仕事で負担を減らした働き方をしたいとも考えている。

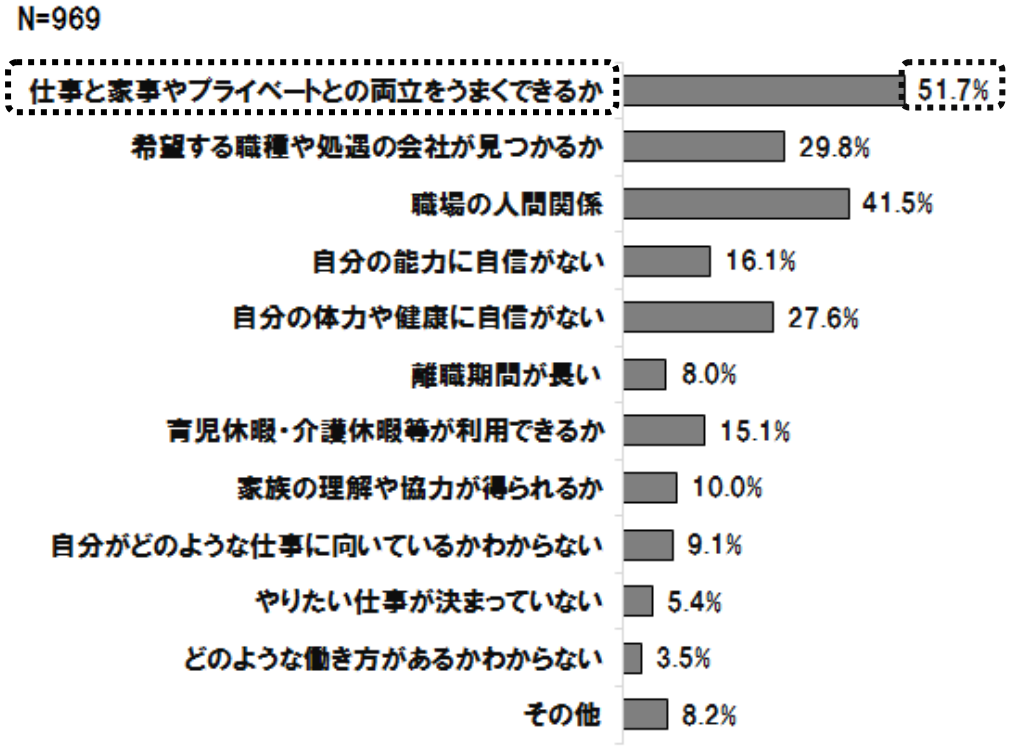


職業別での「起業（独立）したい」の割合としては、「パート・アルバイト」が 2.8%（9 人）、「専業主婦・無職」が 4.0%（6 人）となっている。実数は少ないが割合の多い職業として、「その他」「学生」「家族従業員」「会社や団体の常務役員」がある。

問７ 働く上で不安や悩みだと思うこと （該当するもの全て）

（とてもそう思う 544 人、まあそう思う 466 人が対象）

「仕事と家事やプライベートとの両立をうまくできるか」が 51.7%と最も多く、次いで「職場の人間関係」が 41.5%となっている。



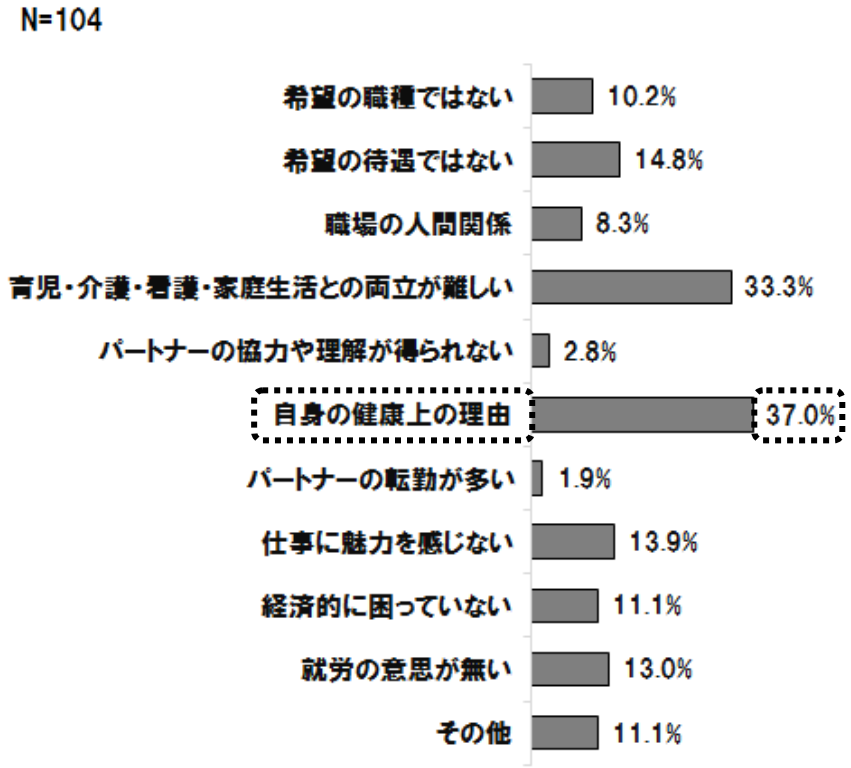
問7 働く上で不安や悩みだと思うこと ＜全体＞	人 数	構 成 比
仕事と家事やプライベートとの両立をうまくできるか	522	51.7%
希望する職種や処遇の会社が見つかるか	301	29.8%
職場の人間関係	419	41.5%
自分の能力に自信がない	163	16.1%
自分の体力や健康に自信がない	279	27.6%
離職期間が長い	81	8.0%
育児休暇・介護休暇等が利用できるか	153	15.1%
家族の理解や協力が得られるか	101	10.0%
自分がどのような仕事に向いているかわからない	92	9.1%
やりたい仕事が決まっていない	55	5.4%
どのような働き方があるかわからない	35	3.5%
その他	83	8.2%
合計	2284	226.1%

【今後、働きたいと思わない、働き続けたいと思わないと選択した方を対象】

問８ そのように思う理由（全体） **（該当するもの全て）**

（「あまりそう思わない」84 人、「全く思わない」24 人が対象）

「自身の健康上の理由」が 37.0%と最も多く、次いで「育児・介護・看護・家庭生活との両立が難しい」が 33.3%となっている。

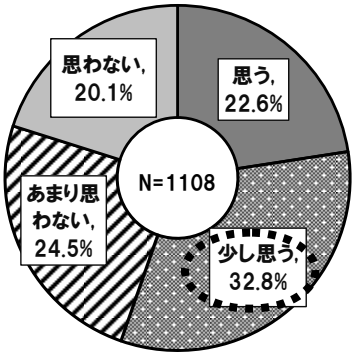


問8 働きたいと思わない、働き続けたいと思わない理由 ＜全体＞	人 数	構 成 比
希望の職種ではない	11	10.2%
希望の待遇ではない	16	14.8%
職場の人間関係	9	8.3%
育児・介護・看護・家庭生活との両立が難しい	36	33.3%
パートナーの協力や理解が得られない	3	2.8%
自身の健康上の理由	40	37.0%
パートナーの転勤が多い	2	1.9%
仕事に魅力を感じない	15	13.9%
経済的に困っていない	12	11.1%
就労の意思が無い	14	13.0%
その他	12	11.1%
合計	170	157.4%

(3) 起業・創業の関心について

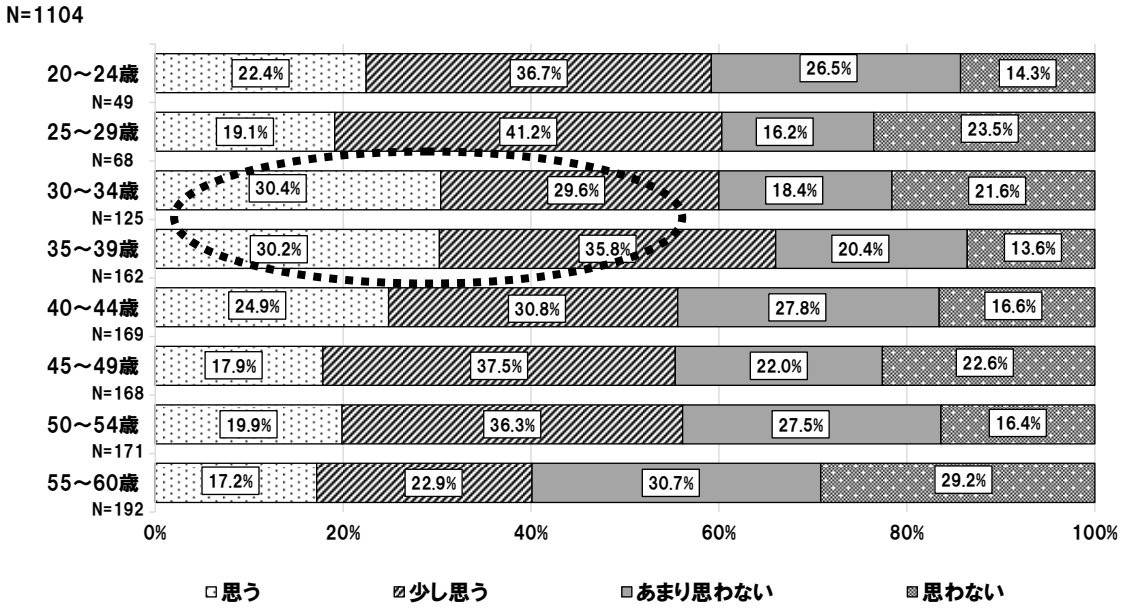
問９ 趣味や習い事で得た技術を活かして収入を得てみたいと思うか（全体）

全体では、「思う」が 22.6%、「少し思う」が 32.8%の合計は、5 割以上を占めており、多くの方が趣味や習い事で得た技術を活かして収入を得てみたいと考えている。



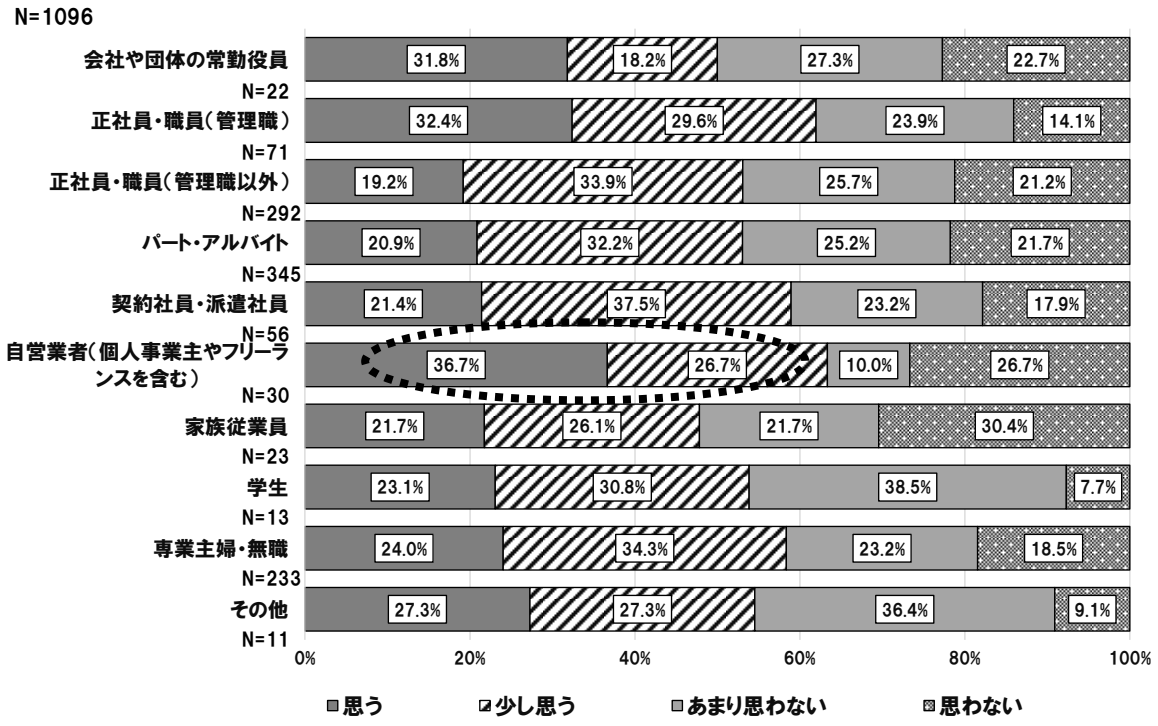
問９ 趣味や習い事で得た技術を活かして収入を得てみたいと思うか（年齢別）

年齢別では、30 代の 6 割以上が趣味や習い事で得た技術を活かして収入を得てみたい（「思う」＋「少し思う」）と考えており、最も多くなっている。その他の年代では 4～5 割が趣味や習い事で得た技術を活かして収入を得てみたいと考えている。



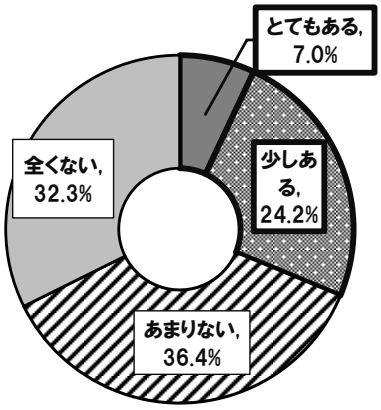
問９ 趣味や習い事で得た技術を活かして収入を得てみたいと思うか（職業別）

職業別では、大きな差異はないが、「自営業者（個人事業主やフリーランスを含む)」「正社員・職員（管理職)」の方の意欲がやや高い。それ以外の職業では 4～5 割が趣味や習い事で得た技術を活かして収入を得てみたいと考えている。



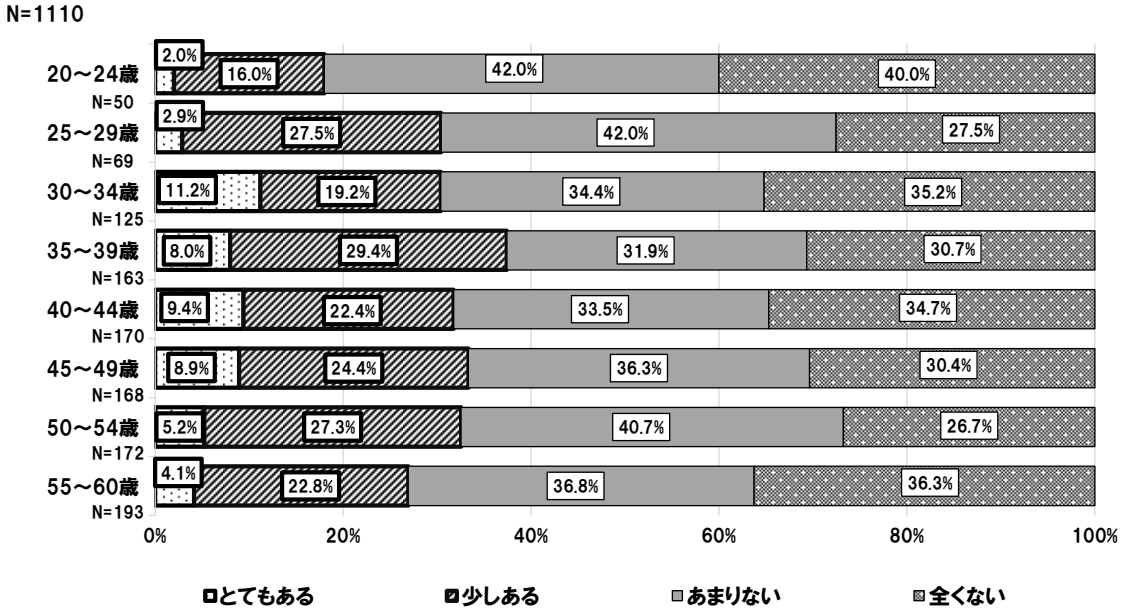
問 10 起業・創業への興味・関心（全体）

全体では、「とてもある」が 7.0%（78 人）、「少しある」が 24.2%（270 人）となっており、全体の 3 割が起業・創業に興味・関心を持っている（「とてもある」＋「少しある」）傾向にある。
一方、全体の 7 割近くの市民は、起業・創業に関して特に興味がない。



問 10 起業・創業への興味・関心（年齢別）

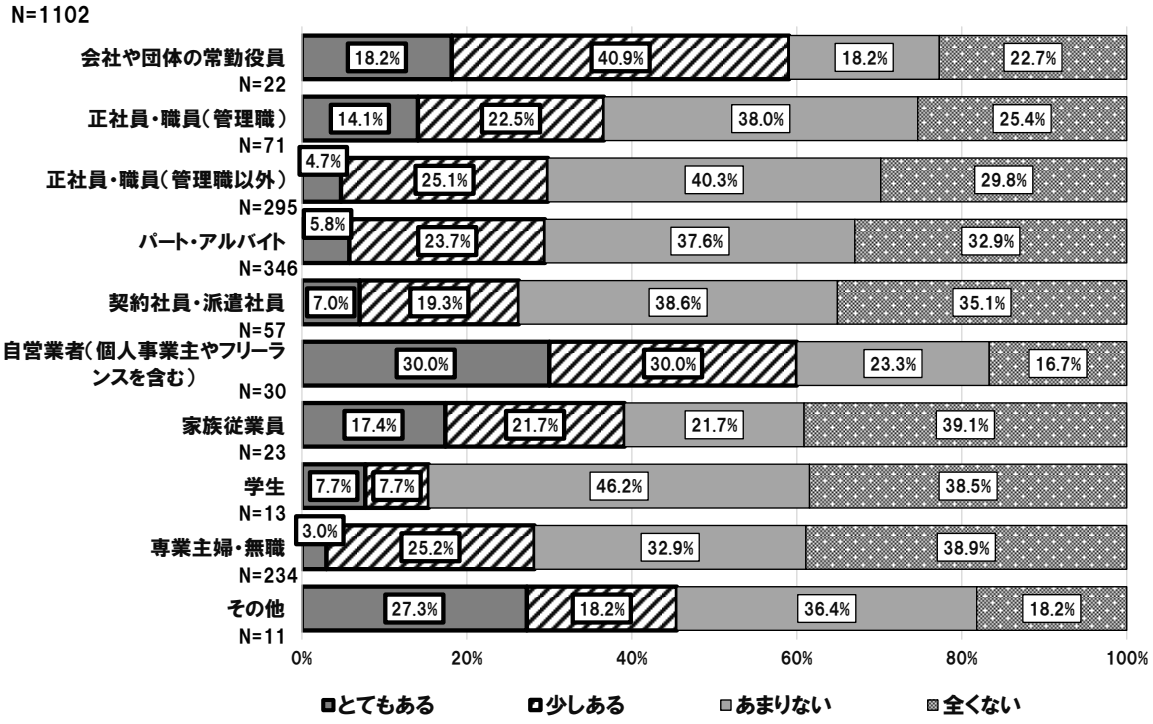
年齢別において、傾向に大きな差はないが、30～40 歳代の興味・関心がやや高い。



年齢別では、30 代～40 代の各年齢層で 3 割以上が起業・創業に興味・関心を持っている（「とてもある」＋「少しある」）傾向にある。

問 10 起業・創業への興味・関心（職業別）

職業別では、「会社や団体の常勤役員」と「自営業者（個人事業主やフリーランスを含む)」の起業・創業への興味・関心が高い。一方、「学生」「契約社員・派遣社員」「専業主婦・無職」では「趣味や習い事で得た技術を活かして収入を得てみたい」としながら、起業・創業までには至っていないことがよみとれる。



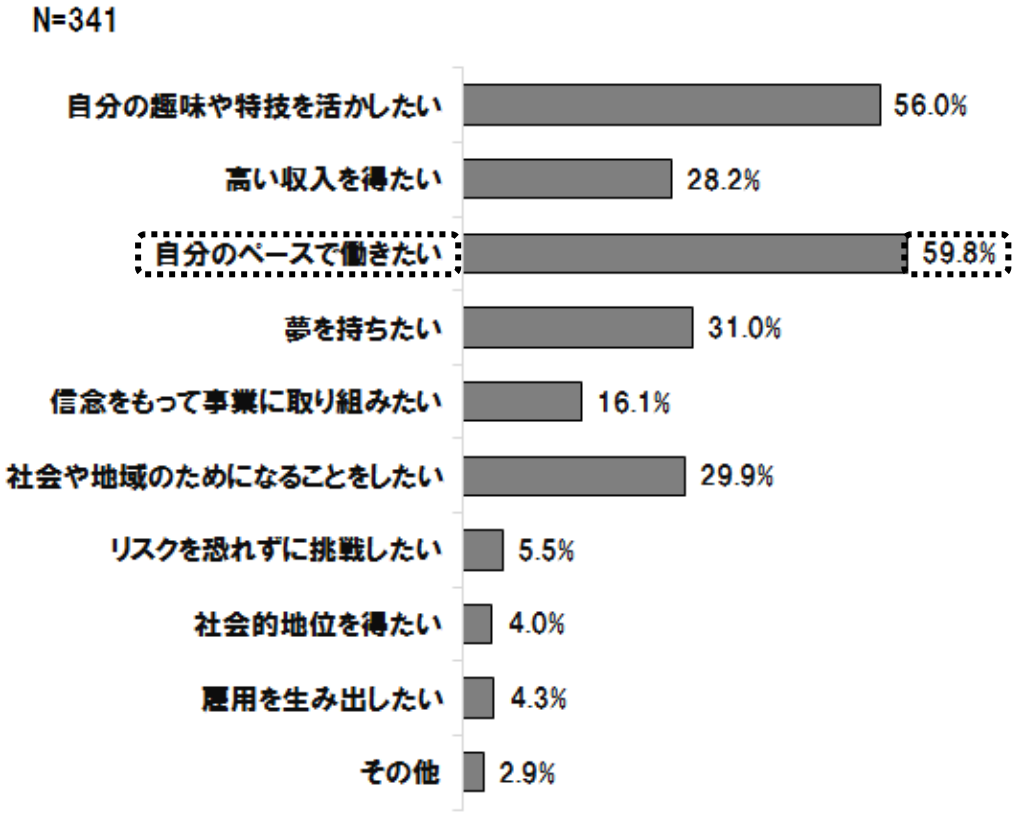
職業別では、「会社や団体の常勤役員」と「自営業者（個人事業主やフリーランスを含む)」の約 6 割が起業・創業に興味・関心を持っている（「とてもある」+「少しある」）傾向にある。

【起業・創業に興味・関心があると選択した方を対象】

問 11 そのように思う理由（全体） **（該当するもの全て）**

（「とてもある」78 人、「少しある」270 人が対象）

全体では、「自分のペースで働きたい」が 59.8%と最も多く、次いで「自分の趣味や特技を活かしたい」が 56.0%となっている。



問11 起業・創業に興味・関心があると思う理由 ＜全体＞	人 数	構 成 比
自分の趣味や特技を活かしたい	195	56.0%
高い収入を得たい	98	28.2%
自分のペースで働きたい	208	59.8%
夢を持ちたい	108	31.0%
信念をもって事業に取り組みたい	56	16.1%
社会や地域のためになることをしたい	104	29.9%
リスクを恐れずに挑戦したい	19	5.5%
社会的地位を得たい	14	4.0%
雇用を生み出したい社会に役立つため	15	4.3%
その他	10	2.9%
合計	827	237.7%

問 11 そのように思う理由（年齢別）

年齢別でも、「自分のペースで働きたい」が最も多く、次いで「自分の趣味や特技を活かしたい」が多くなっており、傾向に差はない。

問11 起業・創業に興味・関心があると思う理由 ＜年齢別＞	20～24 歳（人数）	25～29 歳（人数）	30～34 歳（人数）	35～39 歳（人数）	40～44 歳（人数）	45～49 歳（人数）	50～54 歳（人数）	55～60 歳（人数）
自分の趣味や特技を活かしたい	4	7	23	35	37	27	31	30
高い収入を得たい	2	7	11	19	16	18	16	9
自分のペースで働きたい	6	12	24	41	34	28	36	27
夢を持ちたい	4	6	11	19	13	18	15	22
信念をもって事業に取り組みたい	2	0	4	12	11	8	7	12
社会や地域のためになることをしたい	4	7	5	11	17	17	18	25
リスクを恐れずに挑戦したい	0	2	1	3	4	5	2	2
社会的地位を得たい	0	1	1	4	2	5	1	0
雇用を生み出したい	1	2	0	2	3	3	3	1
その他	0	1	2	1	2	2	2	0
合計	23	45	82	147	139	131	131	128

問11 起業・創業に興味・関心があると思う理由 ＜年齢別＞	20～24 歳（構成比）	25～29 歳（構成比）	30～34 歳（構成比）	35～39 歳（構成比）	40～44 歳（構成比）	45～49 歳（構成比）	50～54 歳（構成比）	55～60 歳（構成比）
自分の趣味や特技を活かしたい	44.4%	33.3%	60.5%	57.4%	68.5%	48.2%	55.4%	57.7%
高い収入を得たい	22.2%	33.3%	28.9%	31.1%	29.6%	32.1%	28.6%	17.3%
自分のペースで働きたい	66.7%	57.1%	63.2%	67.2%	63.0%	50.0%	64.3%	51.9%
夢を持ちたい	44.4%	28.6%	28.9%	31.1%	24.1%	32.1%	26.8%	42.3%
信念をもって事業に取り組みたい	22.2%	0.0%	10.5%	19.7%	20.4%	14.3%	12.5%	23.1%
社会や地域のためになることをしたい	44.4%	33.3%	13.2%	18.0%	31.5%	30.4%	32.1%	48.1%
リスクを恐れずに挑戦したい	0.0%	9.5%	2.6%	4.9%	7.4%	8.9%	3.6%	3.8%
社会的地位を得たい	0.0%	4.8%	2.6%	6.6%	3.7%	8.9%	1.8%	0.0%
雇用を生み出したい	11.1%	9.5%	0.0%	3.3%	5.6%	5.4%	5.4%	1.9%
その他	0.0%	4.8%	5.3%	1.6%	3.7%	3.6%	3.6%	0.0%
合計	255.6%	214.3%	215.8%	241.0%	257.4%	233.9%	233.9%	246.2%

問 11 そのように思う理由（職業別）

職業別でも、「自分のペースで働きたい」が最も多く、次いで「自分の趣味や特技を活かしたい」が多くなっており、傾向に差はない。

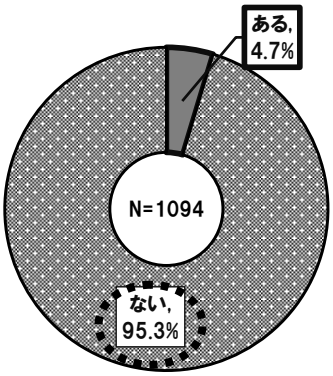
A・・・会社や団体の常勤役員　B・・・正社員・職員（管理職）　C・・・正社員・職員（管理職以外）
D・・・パート・アルバイト　E・・・契約社員・派遣社員
F・・・自営業者（個人事業主やフリーランスを含む）　G・・・家族従業員
H・・・学生　I・・・専業主婦・無職　J・・・その他

問11　起業・創業に興味・関心があると思う理由　＜職業別＞	A（人数）	B（人数）	C（人数）	D（人数）	E（人数）	F（人数）	G（人数）	H（人数）	I（人数）	J（人数）
自分の趣味や特技を活かしたい	8	14	45	56	10	10	5	0	41	4
高い収入を得たい	3	8	33	30	6	6	1	0	9	0
自分のペースで働きたい	8	12	50	57	9	14	4	1	50	0
夢を持ちたい	4	9	28	33	7	4	2	1	16	2
信念をもって事業に取り組みたい	3	5	16	12	3	7	2	1	5	1
社会や地域のためになることをしたい	4	8	27	25	4	11	2	1	18	3
リスクを恐れずに挑戦したい	3	1	8	4	0	3	0	0	0	0
社会的地位を得たい	1	2	2	3	0	2	0	0	4	0
雇用を生み出したい	0	2	4	2	0	3	0	0	3	0
その他	0	1	2	3	1	1	0	0	2	0
合計	34	62	215	225	40	61	16	4	148	10

問11　起業・創業に興味・関心があると思う理由　＜職業別＞	A（構成比）	B（構成比）	C（構成比）	D（構成比）	E（構成比）	F（構成比）	G（構成比）	H（構成比）	I（構成比）	J（構成比）
自分の趣味や特技を活かしたい	61.5%	53.8%	53.6%	54.9%	66.7%	55.6%	55.6%	0.0%	62.1%	80.0%
高い収入を得たい	23.1%	30.8%	39.3%	29.4%	40.0%	33.3%	11.1%	0.0%	13.6%	0.0%
自分のペースで働きたい	61.5%	46.2%	59.5%	55.9%	60.0%	77.8%	44.4%	50.0%	75.8%	0.0%
夢を持ちたい	30.8%	34.6%	33.3%	32.4%	46.7%	22.2%	22.2%	50.0%	24.2%	40.0%
信念をもって事業に取り組みたい	23.1%	19.2%	19.0%	11.8%	20.0%	38.9%	22.2%	50.0%	7.6%	20.0%
社会や地域のためになることをしたい	30.8%	30.8%	32.1%	24.5%	26.7%	61.1%	22.2%	50.0%	27.3%	60.0%
リスクを恐れずに挑戦したい	23.1%	3.8%	9.5%	3.9%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
社会的地位を得たい	7.7%	7.7%	2.4%	2.9%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%
雇用を生み出したい	0.0%	7.7%	4.8%	2.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
その他	0.0%	3.8%	2.4%	2.9%	6.7%	5.6%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%
合計	261.5%	238.5%	255.9%	220.6%	266.7%	338.8%	177.8%	200.0%	224.2%	200.0%

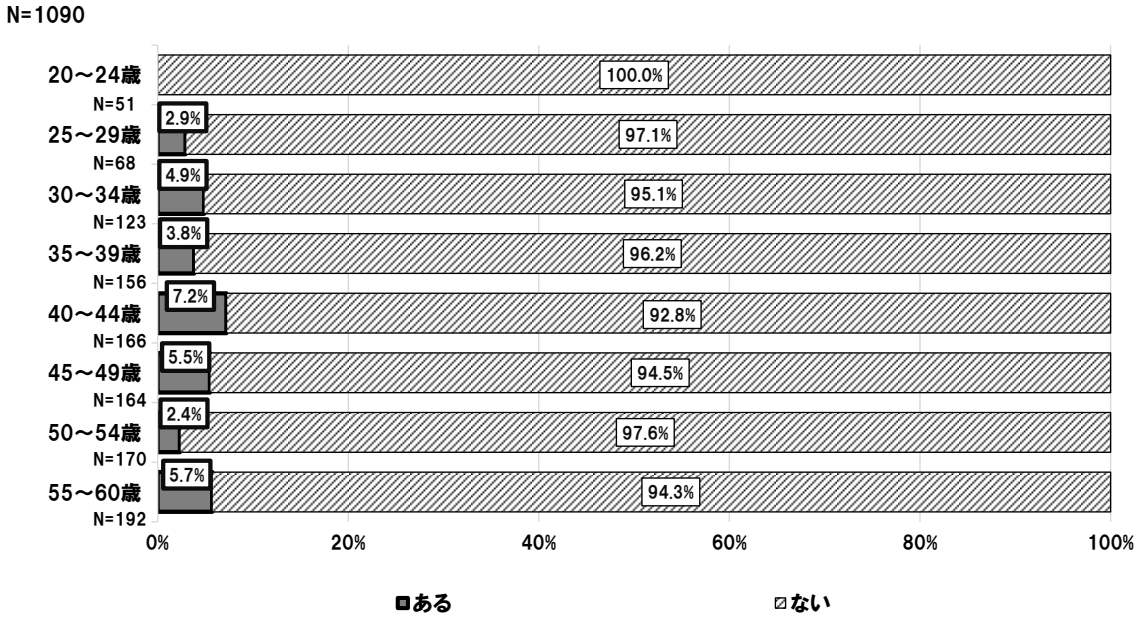
問 12 起業・創業の学習、セミナー・イベントの参加経験（全体）

全体では、「ある」が 4.7%（51 人）となっており、「ない」が 95.3%と多い。起業・創業に興味・関心があってもほとんどの方が起業・創業の学習、セミナー・イベントに参加していない。



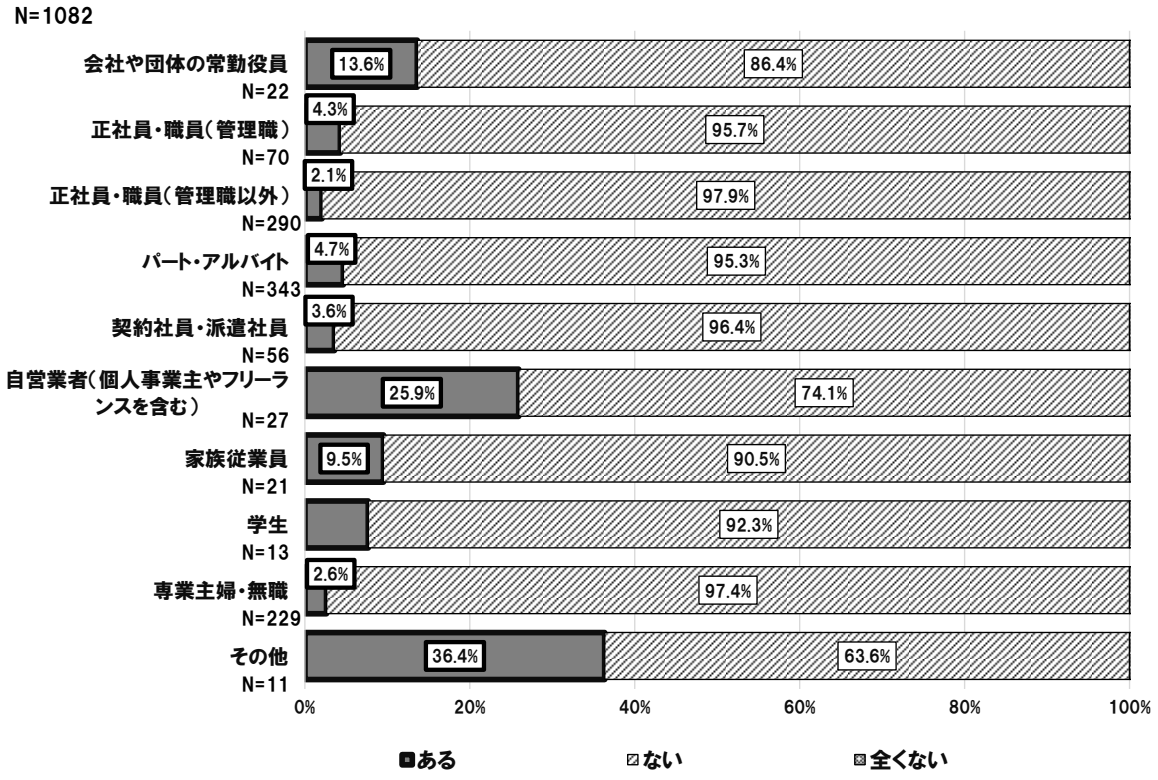
問 12 起業・創業の学習、セミナー・イベントの参加経験（年齢別）

40 歳代で参加がやや多いが、年齢別での差異は少ない。



問 12 起業・創業の学習、セミナー・イベントの参加経験（職業別）

実数としては少ないが、職業別の参加割合では「その他」「自営業者（個人事業主やフリーランスを含む)」「会社や団体の常務役員」が多い。

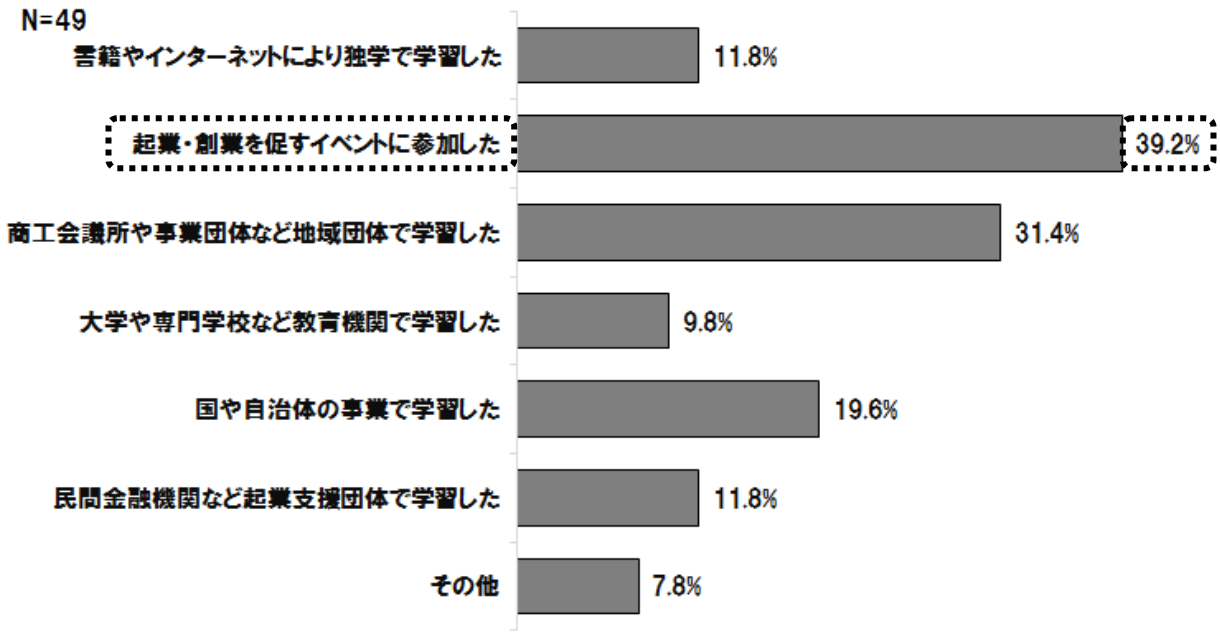


【起業・創業の学習、セミナー・イベントの参加経験があると選択した方を対象】

問 13 それはどのようなものか（全体） **（該当するもの全て）**

（「起業・創業の学習、セミナー・イベントの参加経験がある」51 人が対象）

全体では、「起業・創業を促すイベントに参加した」が 39.2%（20 人）と最も多く、次いで「商工会議所や事業団体など地域団体で学習した」が 31.4%（16 人）となっている。



問13 参加した起業・創業の学習、セミナー・イベント内容 ＜全体＞	人 数	構 成 比
書籍やインターネットにより独学で学習した	6	11.8%
起業・創業を促すイベントに参加した	20	39.2%
商工会議所や事業団体など地域団体で学習した	16	31.4%
大学や専門学校など教育機関で学習した	5	9.8%
国や自治体の事業で学習した	10	19.6%
民間金融機関など起業支援団体で学習した	6	11.8%
その他	4	7.8%
合計	67	131.4%

問 13 それはどのようなものか（年齢別）

年齢別でも、「起業・創業を促すイベントに参加した」が最も多い。

問13 参加した起業・創業の学習、セミナー・イベント内容　＜年齢別＞	20～24 歳（人数）	25～29 歳（人数）	30～34 歳（人数）	35～39 歳（人数）	40～44 歳（人数）	45～49 歳（人数）	50～54 歳（人数）	55～60 歳（人数）
書籍やインターネットにより独学で学習した	0	0	2	2	2	0	0	0
起業・創業を促すイベントに参加した	0	0	2	2	4	3	3	5
商工会議所や事業団体など地域団体で学習した	0	1	1	1	6	3	1	3
大学や専門学校など教育機関で学習した	0	1	1	1	2	0	0	0
国や自治体の事業で学習した	0	2	0	1	0	4	1	2
民間金融機関など起業支援団体で学習した	0	1	1	0	3	0	0	1
その他	0	0	0	0	1	1	1	1
合計	0	5	7	7	18	11	6	12

問13 参加した起業・創業の学習、セミナー・イベント内容　＜年齢別＞	20～24 歳（構成比）	25～29 歳（構成比）	30～34 歳（構成比）	35～39 歳（構成比）	40～44 歳（構成比）	45～49 歳（構成比）	50～54 歳（構成比）	55～60 歳（構成比）
書籍やインターネットにより独学で学習した	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
起業・創業を促すイベントに参加した	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	75.0%	45.5%
商工会議所や事業団体など地域団体で学習した	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	50.0%	33.3%	25.0%	27.3%
大学や専門学校など教育機関で学習した	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
国や自治体の事業で学習した	0.0%	100.0%	0.0%	16.7%	0.0%	44.4%	25.0%	18.2%
民間金融機関など起業支援団体で学習した	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	9.1%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	11.1%	25.0%	9.1%
合計	0.0%	250.0%	116.7%	116.7%	150.0%	122.2%	150.0%	109.1%

問 13 それはどのようなものか（職業別）

職業別でも、「起業・創業を促すイベントに参加した」が最も多い。

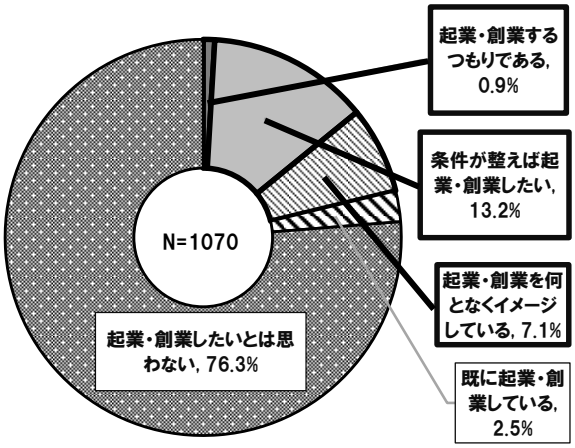
A・・・会社や団体の常勤役員　B・・・正社員・職員（管理職）　C・・・正社員・職員（管理職以外）
D・・・パート・アルバイト　E・・・契約社員・派遣社員
F・・・自営業者（個人事業主やフリーランスを含む）　G・・・家族従業員
H・・・学生　I・・・専業主婦・無職　J・・・その他

問13 参加した起業・創業の学習、セミナー・イベント内容　＜職業別＞	A（人数）	B（人数）	C（人数）	D（人数）	E（人数）	F（人数）	G（人数）	H（人数）	I（人数）	J（人数）
書籍やインターネットにより独学で学習した	0	0	0	1	0	1	1	1	2	0
起業・創業を促すイベントに参加した	1	0	2	6	1	5	1	0	1	3
商工会議所や事業団体など地域団体で学習した	0	3	1	4	0	4	2	0	1	1
大学や専門学校など教育機関で学習した	1	0	2	0	0	0	0	1	1	0
国や自治体の事業で学習した	1	1	0	2	1	1	1	0	1	2
民間金融機関など起業支援団体で学習した	0	1	2	2	0	1	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
合計	4	5	7	15	2	13	5	2	7	6

問13 参加した起業・創業の学習、セミナー・イベント内容	A（構成比）	B（構成比）	C（構成比）	D（構成比）	E（構成比）	F（構成比）	G（構成比）	H（構成比）	I（構成比）	J（構成比）
書籍やインターネットにより独学で学習した	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	14.3%	50.0%	100.0%	33.3%	0.0%
起業・創業を促すイベントに参加した	33.3%	0.0%	33.3%	37.5%	50.0%	71.4%	50.0%	0.0%	16.7%	75.0%
商工会議所や事業団体など地域団体で学習した	0.0%	100.0%	16.7%	25.0%	0.0%	57.1%	100.0%	0.0%	16.7%	25.0%
大学や専門学校など教育機関で学習した	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	16.7%	0.0%
国や自治体の事業で学習した	33.3%	33.3%	0.0%	12.5%	50.0%	14.3%	50.0%	0.0%	16.7%	50.0%
民間金融機関など起業支援団体で学習した	0.0%	33.3%	33.3%	12.5%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
合計	133.3%	166.7%	116.7%	93.8%	100.0%	185.7%	250.0%	200.0%	116.7%	150.0%

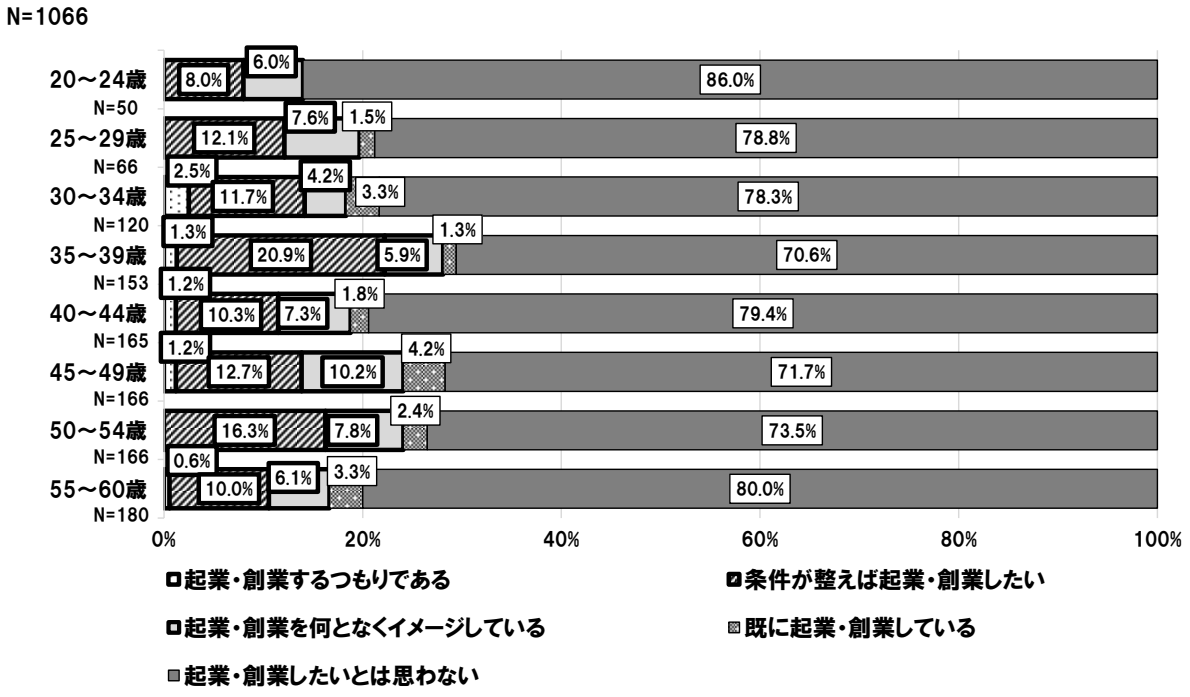
問 14 将来、起業・創業してみたい、または、起業・創業する可能性があるか（全体）

全体では、「起業・創業するつもりである」が 0.9%（10 人）、「条件が整えば起業・創業したい」が 13.2%（141 人）、「起業・創業を何となくイメージしている」が 7.1%（76 人）となっており、全体の 2 割が起業・創業してみたいと回答している。



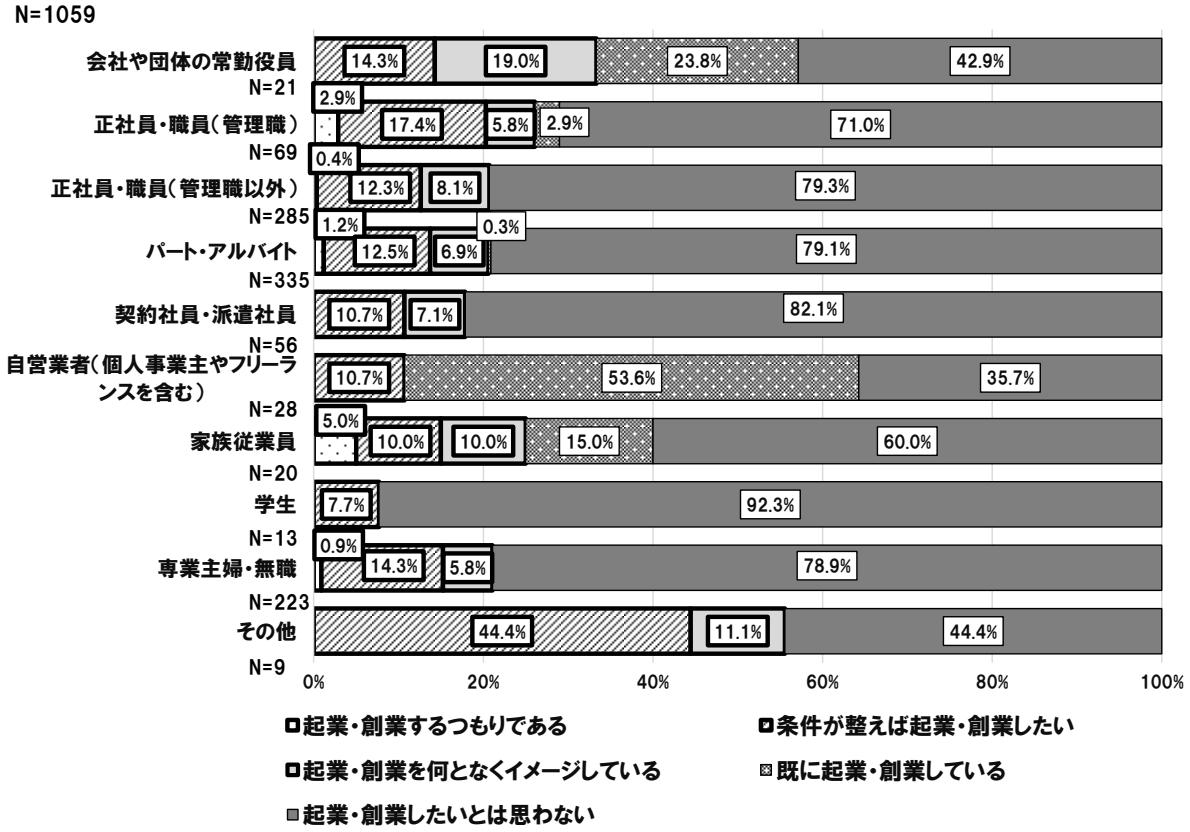
問 14 将来、起業・創業してみたい、または、起業・創業する可能性があるか（年齢別）

年齢別では、30～54 歳の約 2 割が起業・創業してみたい（「起業・創業するつもりである」＋「条件が整えば起業・創業したい」＋「起業・創業を何となくイメージしている」）と回答している。35～39 歳でやや意欲が高い。(起業・創業するつもり 1.3%、条件が整えば起業・創業したい 20.9%、起業・創業をなんとなくイメージしている 5.9%)



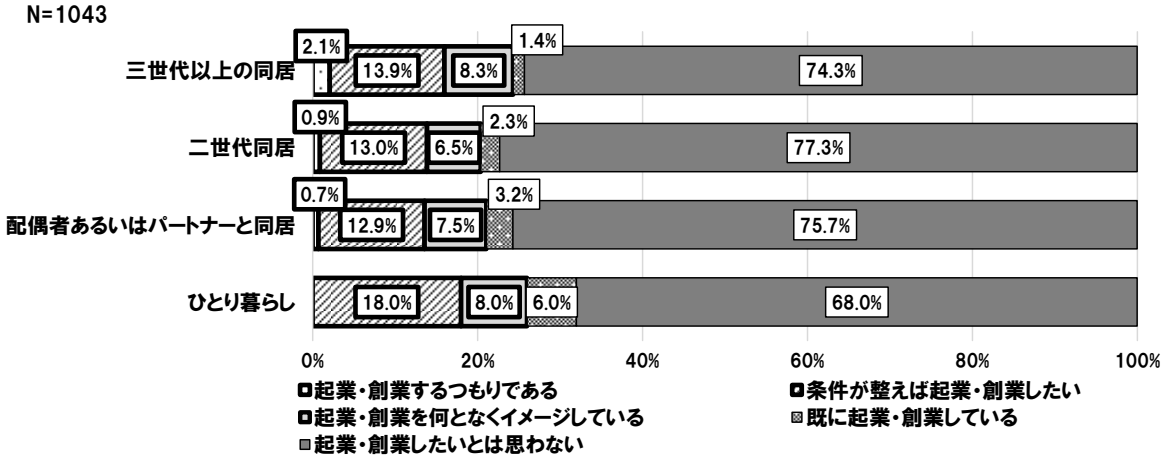
問 14 将来、起業・創業してみたい、または、起業・創業する可能性があるか（職業別）

職業別では、「会社や団体の常勤役員」の 3 割が将来、起業・創業してみたい（「起業・創業するつもりである」＋「条件が整えば起業・創業したい」＋「起業・創業を何となくイメージしている」）と回答しており、有効回答数を鑑みた際、最も起業・創業する可能性が高い。



問 14 将来、起業・創業してみたい、または、起業・創業する可能性があるか（家族構成別）

家族構成別でも、「起業・創業したいとは思わない」が最も多い。



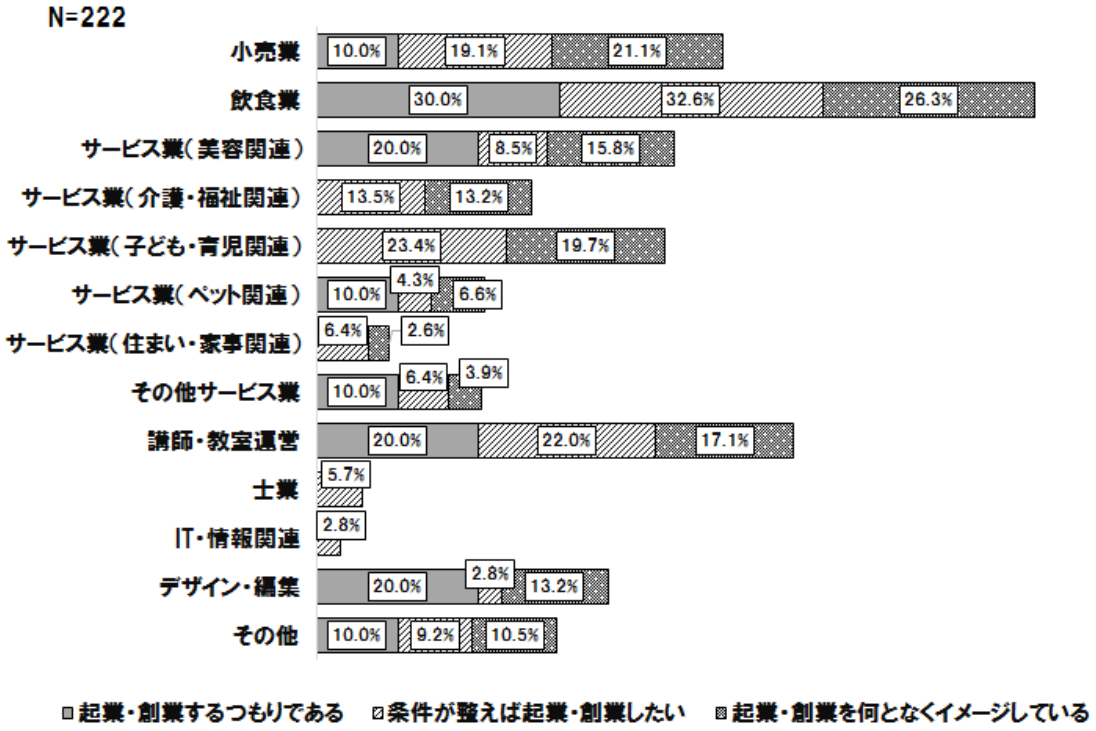
家族構成別では、「ひとり暮らし」の 25%以上が将来、起業・創業してみたい（「起業・創業するつもりである」＋「条件が整えば起業・創業したい」＋「起業・創業を何となくイメージしている」）と回答しており、最も起業・創業する可能性が高い。

【将来、起業・創業してみたい、または、起業・創業する可能性があると選択した方を対象】

問 15 将来、起業・創業したい事業はどのような分野か **（該当するもの全て）**

（「起業・創業するつもりである」10 人、「条件が整えば起業・創業したい」141 人、「起業・創業を何となくイメージしている」76 人が対象）

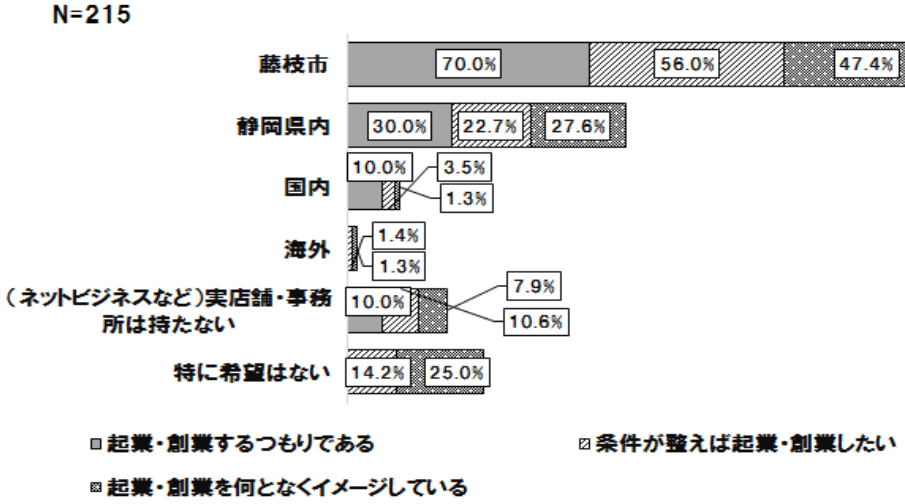
「飲食業」が全体で 88.9%と最も多く、次いで「講師・教室運営」が 59.1%となっている。起業意欲が現実的な方には「サービス業（理容関連）」「デザイン・編集」の割合も高い。



問 16 起業する地域の希望 **（該当するもの全て）**

（「起業・創業するつもりである」10 人、「条件が整えば起業・創業したい」141 人、「起業・創業を何となくイメージしている」76 人が対象）

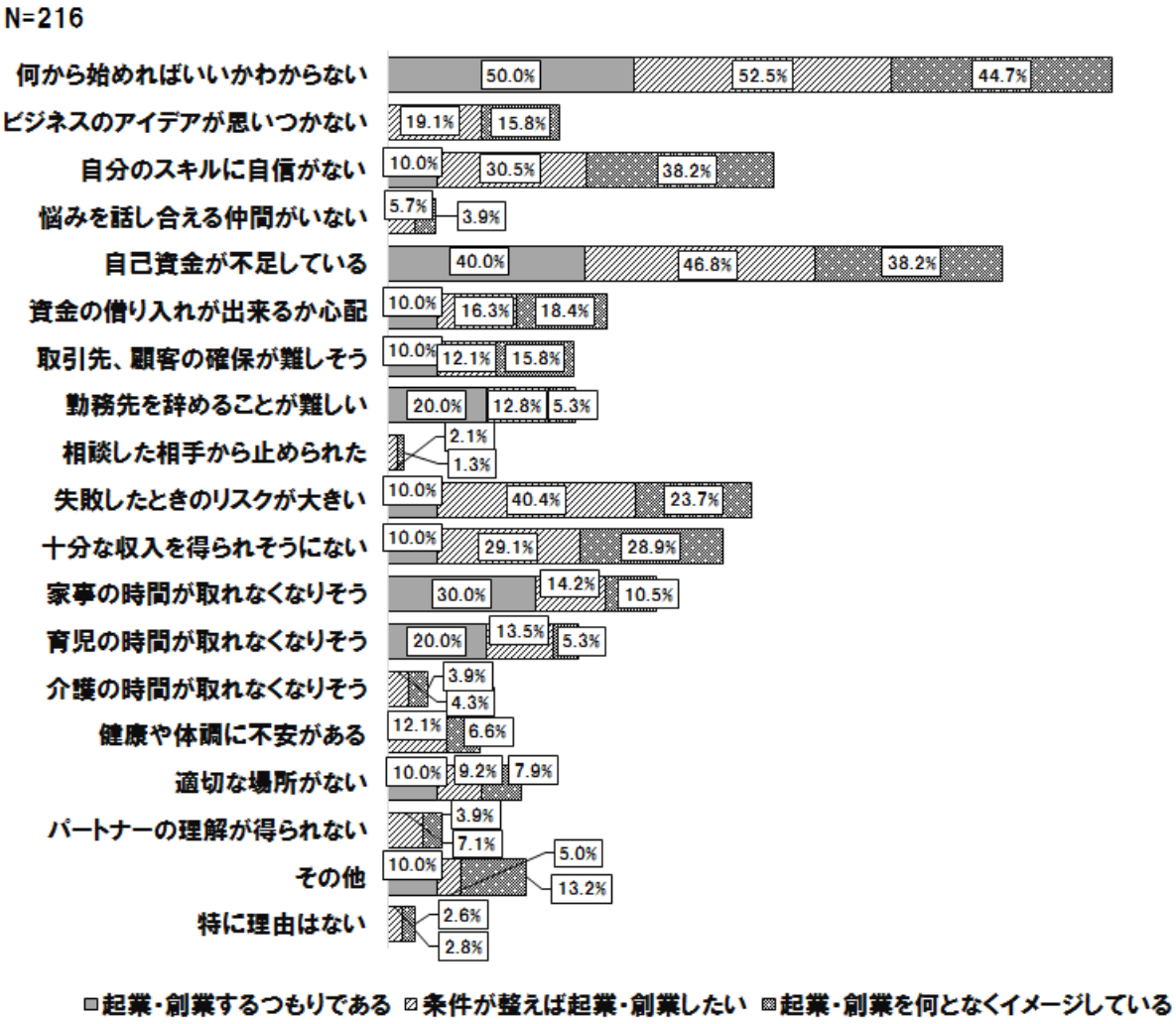
「藤枝市」が最も多く、次いで「静岡県内」となっており、地元での起業・創業を希望する傾向にある。起業意欲が現実的な方ほど藤枝市での起業を想定している。



問 17 興味はあっても起業しない理由 （該当するもの全て）

（「起業・創業するつもりである」10 人、「条件が整えば起業・創業したい」141 人、「起業・創業を何となくイメージしている」76 人が対象）

「何から始めればいいかわからない」が最も多い。起業意欲のある人の半数が何から始めればよいのかわからず、４割が資金不足を理由として起業していない。



問 18 あったら良いと思う起業・創業に関する支援事業・サービス等

あったら良いと思う起業・創業に関する支援事業・サービス等について 4.8%（54 人）が記述している。その記述内容を「起業に向けた支援についての意見」と「就業環境についての意見」に分類したところ、以下のような結果となった。

①起業に向けた支援についての意見

■アドバイス・セミナー

○自分が起業したい分野で、すでに起業している方と１対１で話をしたり、起業のプロセスなどをじっくり聞く機会のマッチングとかをして欲しい。（25～29 歳）

○資格はあるので個人的に高齢者、要介護者等の手作り弁当を作って届けてあげたい夢はありますが、何から手をつければ良いのかよくわからない状態です。（40～44 歳）

○支援事業があることをこの手紙で初めて知りました。仕事・家庭の両立があり、なかなか踏み出せずにいます。地域活性の相談にも市役所まで行き、そのままになってしまっていますので、これから先に進めるのならばお話を伺いたいです。（35～39 歳）

○静岡のニョッキの店 papa さんでやっている副業でもサクセス塾がおもしろい。やり方だけじゃなく、マインドの大切さも必要。（40～44 歳）

○成功者の心得や家族とのかかわりをどうしているかの講演（40～44 歳）

○成功した人の話を聞く機会（50～54 歳）

○このアンケートを見て、そういう働き方があると知りました。成功者の意見などお聞きするチャンスがあったら参考に聞いて見たいと思いました。（45～49 歳）

○気楽に聞ける講座など（55～60 歳）

○若者向けの入り易い、行きやすいセミナーイベント等（25～29 歳）

○経理の基礎が学べる、相談できる所を紹介するセミナー(女性向け)（30～34 歳）

○副業としての起業について､仕事をしながらでも始められるプチ起業についてのセミナー（30～34 歳）

○パソコン活用方法(FB、ブログ、HP 作成)（40～44 歳）

■資金

○資金的援助（35～39 歳）

○支度金の補助。起業後１～２年の援助。宣伝等の補助または手伝い。市内病院や市役所での起業連携。（40～44 歳）

○金銭面での情報提供。資金や税金の申告方法など。（40～44 歳）

○起業を前提とした場合、それまでの勤務先をやめてから起業するまで職業訓練のような勉強時間と収入がなくなり、困らないように、ある程度の金銭的補助が欲しい。（30～34 歳）

○起業資金援助。申請した人に無償提供。報告を義務付ける。無償が無理なら金利ゼロで貸し、返済は１年後とか月々とか。（50～54 歳）

○資金借り入れ制度（50～54 歳）

■体験・現場

○将来起業したいと思っている職種へアルバイト等ができ、その後も起業が具体的にイメージできるような支援があれば嬉しいです。(資金のことや実際その職種で起業された方のお話など)（40～44 歳）

○起業を前提とした起業種別が同じ会社への勉強体験（45～49 歳）

○ハローワークみたいな需要と供給の情報をお互いに得られる場の提供。地域のニーズが分かれば自分にでも役に立てる。これならできる、やってみようとなれるかも。（40～44 歳）

○賛同できる。あるいは賛同してくれる仲間で、期間限定で、試業を開始してみる。（できる支援）（45～49 歳）

■活動環境・イベント

○シェアオフィス・コワーキングスペースなど駅近くまたは駐車場ありで利用できたらいいなと思います（35～39 歳）

○週 1 などで借りて試しに経営できるスペースの提供（40～44 歳）

○時間 or 期間で貸し出すギャラリーや教室（45～49 歳）

○空き店舗を期間限定などで「お試し営業」できるように格安に紹介・提供など(道具がそろっているとベスト)（45～49 歳）

○自営業メンバーのイベント（地域イベントで客が低価格で体験出来たり購入できたりするイベント）（35～39 歳）

○イベント等を開催するための会場を貸して欲しい。(公民館など営利企業には貸してもらえない）PR するチラシなどを置く場所が欲しい。ネットワークを拡げるシステムとか。（50～54 歳）

○持っている資格や技術を活かしたいけどまだ起業までに行かない。女性達が集まってその資格や技術を活かせるイベントを開催する。その場で提供し、起業できる自信をつけさせる。「輝きイベント」を開催していただきたいです。（55～60 歳）

■情報提供

○通信講座・資格取得支援のサービス（30～34 歳）

○簡単な広告誌での定期的な配布とか（45～49 歳）

○土日祝にやっているハローワーク（50～54 歳）

○市が求める講師の情報公開サービス（50～54 歳）

■その他

○カウンセリング（教育関係）（50～54 歳）

○納棺師業（50～54 歳）

○芸能関係（20～24 歳）

○起業・創業を女性に問う前に働く女性（介護、育児など）の支援が先では？？（35～39 歳）

②就業環境についての意見

■育児サポート

○子育てをしながらでもしっかりと働ける支援がもう少し手厚かったら働きやすい。（30～34歳）

○子育て支援。適齢期なので、支援があると不安が少なくなる。（30～34 歳）

○託児ありの職場（土日も）（30～34 歳）

○病児保育（40～44 歳）

○子育てサポート（病気の時の保育）（35～39 歳）

○女性が活躍できる場が少ないと思う。子供がいるからパートという方が多いが、実際スキルが高い人が多い。（薬剤師とか先生とか）そういう人が働きやすい環境を整えることが大事だと感じます。（40～44 歳）

○託児・子育て支援（40～44 歳）

○子育て・介護・家事などの支援が充実するといいと思う。（55～60 歳）

○家事・育児の時間が少なくなるのでお手伝いさん（シルバー人材等）の斡旋など（45～49 歳）

○今子育てしていて、働きたいけど、働いていないという人が、なぜ働かないのか。子供の春休み、夏休み、冬休みどうするか。子供を 1 人で家に置いて仕事に行けないので、仕事に踏み出せない。その後押しをしてくれる支援があるといいなと思います。（40～44 歳）

○放課後の児童の居場所作り。児童クラブではなく、空き教室を使ったりして、行きたい時に利用できる。（単発利用とか。）空き教室では地域ボランティアによるミシン講習や宿題の見届けなどをしてもらえる。（40～44 歳）

○学校が終った後、子供が集まれる場所作り（50～54 歳）

■子育ての息抜き

○子供が気軽に行けるところ(レストランでも雑貨店でも)（30～34 歳）

○子供を遊ばせながら親同士話ができる飲食店（昔の「かんてら」のような所。子供の遊ぶスペースのある所。）（35～39 歳）

○赤ちゃんや幼児の遊べるところがあるカフェレストラン。（保育の方がいる）（40～44 歳）

■高齢者への対応

○高齢者をコーディネートする事業（働ける人）（45～49 歳）

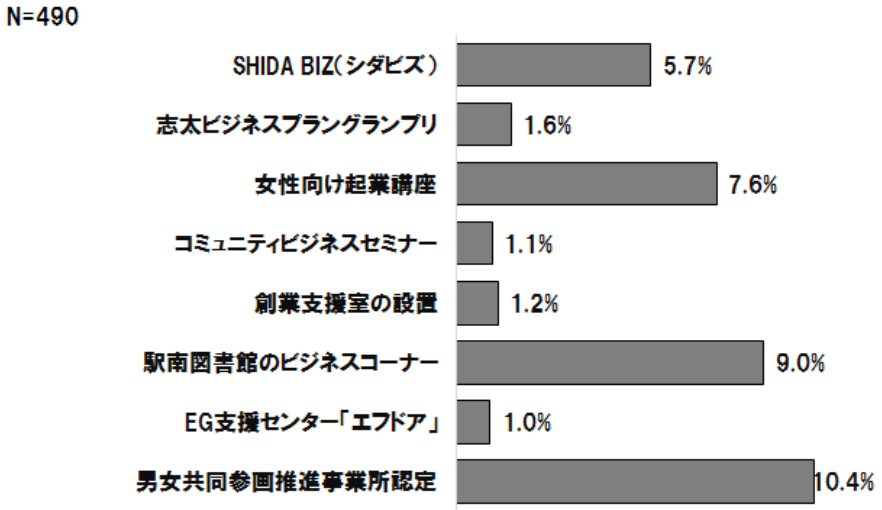
○居宅介護支援事務所地域密着型特別養護老人福祉施設（50～54 歳）

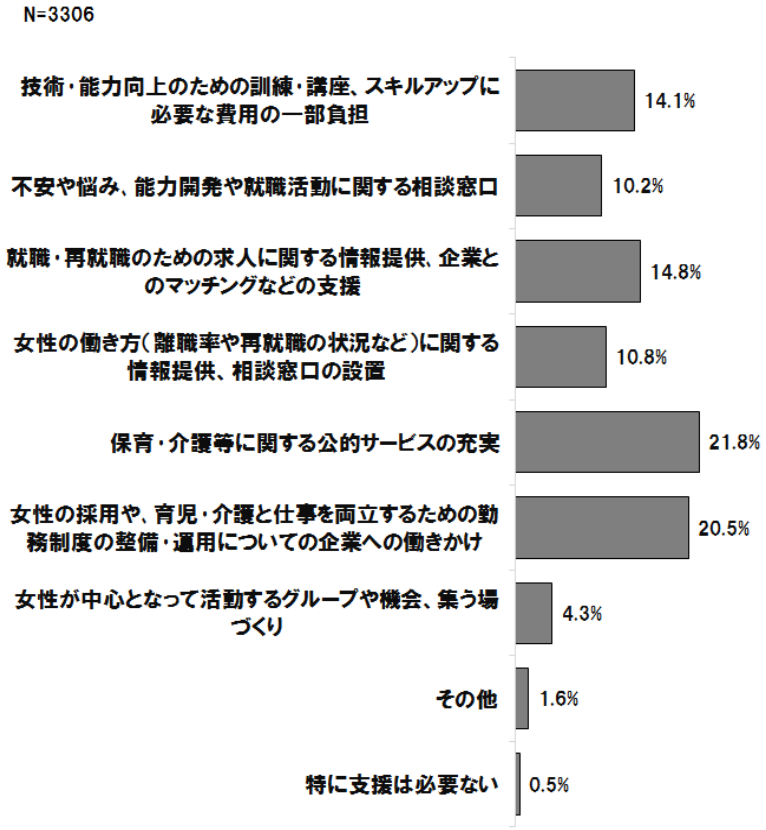
○市内にも（60 歳からの）シェアハウスが（格安で）あればよい（55～60 歳）

(4) 市の取り組みについて

問 19 藤枝市が行っている施策で知っているもの （該当するもの全て）

「男女共同参画推進事業所認定」が 10.4%と最も多いものの全体の１割にとどまり、全体的に回答する割合が少なく、認知度が低い傾向にある。特に EG 支援センター「エフドア」については、認知度は１%でほとんど認知されていない。



問 20 『女性が働きやすく輝くまち』となるために重要だと思う取り組み （該当するもの全て）

「保育･介護等に関する公的サービスの充実」が 21.8%と最も多く、次いで「女性の採用や､育児･介護と仕事を両立するための勤務制度の整備･運用についての企業への働きかけ」が 20.5%であるなど、保育・介護面でのサポートをしてもらいたいと考えている方が多い傾向がある。